

AMAGASAKI SHINKIN BANK

# DISCLOSURE 2023

— 尼崎信用金庫の現況 —



# 質の高い金融サービスの提供と 積極的な地域貢献活動で 「地域のベストバンク」をめざします

## 経営の基本方針

金融機関本来の使命の達成に邁進し、金庫の繁栄、職員の幸福、地域社会への貢献を通じてわが国経済の発展に寄与する。

- 尼崎信用金庫は、地域の発展と皆様の豊かな暮らしを願って、質の高い金融サービスをお届けし、「地域のベストバンク」を目指します。
- 尼崎信用金庫は、お客様の声を経営に反映し、健全経営を堅持します。
- 尼崎信用金庫は、積極的に社会貢献活動を行います。
- 尼崎信用金庫は、職員一人ひとりの人格を尊重し、働きがいのある職場とゆとりのある生活を実現します。

## 情報開示

### コミュニケーション

本誌はステークホルダーの皆さまに尼崎信用金庫の業績や事業内容、地域の持続的な発展に向けた取り組み等について分かりやすくお伝えすることを目的としています。

「ディスクロージャー誌(資料編含む)」のご案内

財務状況等のより詳細な情報を掲載した「ディスクロージャー誌(資料編含む)」は当金庫ホームページに掲載しています。



<https://www.amashin.co.jp/guidance/disclosure.html>



## Contents

本誌は信用金庫法第89条(銀行法第21条準用)に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。本資料の計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

経営の基本方針	01	あましのサステナビリティ	
Top Message	02	SDGsへの取り組み	25
あましの「これまで」	07	人材と働き方	31
あましの「いま」	09	あましの経営体制	
あましの「これから」	17	コンプライアンス推進体制	35
あましの活躍	19	リスク管理高度化の取り組み	37
地域密着型金融の推進	21	開かれた総代会をめざして	39
		組織体制	41

# ごあいさつ

理事長 作田誠司

皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は尼崎信用金庫に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。本年も、尼崎信用金庫についてのご理解を一層深めていただくために、ディスクロージャー誌「尼崎信用金庫の現況2023」を作成いたしました。ぜひ、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

昨年度のわが国経済は、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立に向けた取り組みが進むなかで、緩やかな回復が期待されました。しかしながら、オミクロン株の派生型による感染の再拡大をはじめ、海外の金融・財政政策の動向やウクライナ情勢、原材料価格や物価の高騰など、景気は先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境のもと、当金庫は2022年度を“第2の創業の年”と位置づけ、次の100年に向けてスタートを切りました。これまで培ってきた協同組織金融機関の理念に、新しい時代に求められる地域金融機関としての取り組みを加え、「地域・お取引先・職員」という金庫のステークホルダーから共感が得られる取り組みを実践してまいりました。

その結果、一般企業の営業利益にあたる業務純益は38億円、経常利益は41億円、当期純利益は30億円となりました。自己資本比率は16.25%と国内基準(4%)を大きく上回り、引き続き高い健全性を維持することができております。

2023年度は、昨年からスタートさせた3ヵ年事業計画の2年目となります。当金庫は、全てのステークホルダーと「ともに成長する」あましんをめざし、お取引先の本業支援・伴走支援をはじめ、地域の持続的発展にしっかりと貢献することで、地元の信用金庫としての役割を果たしてまいりたいと考えております。

今後とも、皆さまのより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 地域と、お取引先と、職員と。 「ともに成長」するあましんを。

理事長 作田誠司

— ポテンシャルの高い地域に、さらに高度なサービスを

2年前の2021年にあましんは創業100周年を迎え、2022年には、ステークホルダーである地域とお取引先、そして金庫職員に喜びと感動を提供することを目標に掲げる3ヵ年事業計画を策定しました。「第2の創業」との思いで新たなスタートを切り、現在はその2年目にあたります。新型コロナウイルスへの対応も平時へと移行し、社会・経済活動の回復に向けた動きが本格化しています。とは言え、コロナ禍による影響や長期化するロシア・ウクライナ情勢など、世界的な構造変化によって傷ついた社会・経済が完全に元に戻ることは容易ではありません。また、信用金庫を取り巻く環境も大きく変化しています。かつての信用金庫は、預金・融資・為替という、いわゆる金融機関の3大業務を通じて地域経済を支えてきました。しかし近年、お客さまの課題は多様化・複雑化しており、我われ単独では解決できない課題が増えています。金融機関、金融サービス会社のみならず、地方公共団体や大学など、さまざまな組織・機関と手を携え、高度化するお客さまのニーズに丁寧に応えていくことが求められています。



あましんの「これまで」 P07-08

「あましんのDNA、  
それは、端的に地域に対する  
“本気度”です」



当金庫は、阪神間を中心とする40市4町を営業エリアとして地域に深く根を下ろし活動を続けてきました。本拠を置く尼崎は、昔からものづくりが盛んな地域で、さまざまな工業製品が広く取り扱われてきた賑わいと活気にあふれる街です。この尼崎を中心に、兵庫・大阪の街は地域の産業を育むうえで極めて恵まれた環境にあり、高いポテンシャルを有しています。この街で、当金庫は他の金融機関には負けない地域への思いと確かなサービスを展開し、地元の皆さまから愛され、頼られ、その存在を実感していただけていると思います。これこそが、あましんの最大の強みだと思っています。



あましんの「いま」 P09-16

## ——ともに成長する、あましんのDNA

当金庫の強みは、どのように培われてきたのか。私は、そこに独自のDNAがあると考えています。1921年、地元の中小企業者や住民が会員となって互いに助け合い、発展していくという相互扶助の理念のもと、「地域との共存共栄」をめざす協同組織金融機関として発足して以降、役職員が先達から受け継ぎ培ってきた地域への思い、言わば「地域に対する本気度」です。

私自身、入庫して38年になりますが、諸先輩の薫陶を受ける中で地域に対して本気で関わることを学び、今ではそれが自分の体に染み込んでいると感じています。お取引先が発展すれば地域はさらに豊かになり、当金庫も成長できます。それを目の当たりにした職員も喜びを感じ、達成感を得ることができます。「地域・お取引先」「金庫」「職員」、この3つのバランスを大切にします。私たちはこの考え方を「ともに成長」という言葉で表現していますが、これも、あましんのDNAと言えるかもしれません。



あましんの「これから」 P17-18

理事長としての私の使命は、このDNAを次の世代にしっかりと引き継いでいくことだと考えています。多様な考え方の職員がおり、それぞれに価値観も異なります。昭和の高度成長期であれば、大号令のもとに、一つの価値観と行動様式をもって取り組むということも多かったかもしれませんが、今は令和の時代です。世代、あるいは個人の考え方や価値観を認め、尊重し、それを融合させていくことも大切です。ただ、その前提として、職員には当金庫のDNAの本質、骨太の部分をしっかりと理解してもらいたいと思いますし、管理職にはそういう指導・教育を心掛けるように伝えています。これが続いていく限り、この先も、地域に圧倒的な存在感を発揮し続けることができると確信しています。



地域密着型金融の推進 P21-24

## ——多様な価値観を尊重し、あましんを強くする

多様な個性や価値観を受け入れ、それを力に変えていくダイバーシティ&インクルージョンの考え方が重視されるようになりました。当金庫もこれに積極的に取り組み、女性管理職の積極登用や、給与体系、評価の仕方、ワーク・ライフ・バランスなど、さまざまな角度から改革を進めています。いきいきと働き、自身の生活も大切にしたい職員が増えています。重要なのは制度を整えることだけではなく、それを多くの職員が活用できること、それが当たり前になることです。こうした企業文化の醸成と定着には時間も必要ですが、長期的な展望に立って進めていきたいと考えています。



人材と働き方 P31-34

また採用に関しては、協同組織金融機関という業態、あるいは地域やお客さまとともに成長することが信用金庫業務の醍醐味であることを理解して入庫してもらうこと

# 「SDGs支援という視点で、 お取引先に新たな成長のきっかけを」



が重要です。その第一段階がクリアできれば、そこからの育成メニューは、外部のリソースを活用した金融コンサルティングのスキル習得を含め、これまでの100年の歴史の中で整えられています。

若い世代の中にも、自身のキャリアプランを明確に持ち、業務を通じて高めたいスキルをイメージしている職員がいます。2023年7月から新たに導入したキャリアチャレンジ制度は、こうした思いに応える内容となっています。



📖 SDGsへの取り組み P25-30

## ——サステナブルな社会の実現に貢献する

当金庫は、お客さまと「地域の持続的な発展」という価値を共有しています。2019年には「あましんSDGs宣言」を表明し、地域社会の発展を常に考えた事業活動の推進を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献していくことを打ち出しています。

環境、社会への貢献に向けた当金庫の取り組みの1つに、創業90周年を機に創設した「あましんグリーンプレミアム」があります。環境改善に寄与する地域の皆さまの優れた技術や製品、工法、取り組みやアイデアを顕彰し、新技術の開発や環境文化の創造を後押しする制度で、2017年に環境省「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21世紀金融行動原則）」において『環境大臣賞』を、2018年には第21回信用金庫社会貢献賞『Face to Face賞』を受賞しています。当金庫は、2025年の大阪・関西万博に共創パートナーとして参画しています。万博を契機にグリーンプレミアムの受賞企業・団体をはじめ、多くのお取引先が新たなビジネスチャンスとして、あるいは次の展開へとステップアップできるようサポートを強化しています。

また、お取引先にはSDGs支援という視点で新たな成長へのきっかけづくりをお手伝いしていきたいと考えています。中小企業経営者の中には、SDGsに取り組んでいかなければならないという思いがあっても、具体的に何から手をつければよいのか、とのお悩みをお持ちの方も多いため、東京海上日動火災保険株式会社などと連携してSDGsの取り組みをサポートする「SDGsサービスパッケージ」をご用意しています。さらに、ESGの要素を取り入れた新しい事業性評価手法の構築をめざし、神戸大学経済経営研究所の家森信善教授との共同研究も進めています。

## ——ビジョンを共有し、地域の明るい未来へ

急速に進展するデジタル化、デジタルトランスフォーメーションの流れに対しては、昨年4月にDX戦略グループを立ち上げました。2020年からスタートした業務改革

### サステナビリティ経営

サステナビリティ(sustainability持続可能性)は、環境や社会、人々の健康、経済などあらゆる場面において「将来にわたって機能を失わずに続けていくことができるシステムやプロセス」のこと。サステナビリティ経営とは、企業が自社の短期的な利益だけでなく、地球をはじめとする様々なステークホルダーと共存しながら長期的に成長し、進歩し続ける経営を指します。

### SDGs

#### (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択され、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

### ESG

Environment（環境）・Social（社会）・Governance（ガバナンス・運営/統治）の頭文字を取った言葉。サステナビリティ経営における3つの要素とESGは共通していますが、こちらは国連が提唱した投資の際の判断基準としての3つの要素を意味します。企業に環境や社会への配慮が求められるようになり、企業を選ぶ基準や企業の成長度合いを見極める要素としてESGは重視されるようになってきました。

(BPR)の取り組みにデジタル技術を効果的に取り入れるとともに、2023年1月から新たな勘定系システムを稼働させ、業務プロセス全体の効率化を追求しています。これにより、お客さまの利便性を向上し、効率化によって生み出された人員と時間が人がコミュニケーションを取ることで価値が発揮される分野に振り向け、接点を持つことが難しかったお客さまへの新しい金融サービス・チャネルの提供、外部機関との連携によるお取引先のDXに向けたサポートを加速させることで、「ともに成長」する取り組みをさらに進化させていきたい考えです。

振り返りますと、あましんが産声を上げた1921年、日本は第一次世界大戦の戦後恐慌の最中にあり、またスペイン風邪が猛威を振っていました。その逆風に、松尾高一・中江清という創業の中心となった2人は立ち向かいました。それは、どこか現在の状況と似通っているように思います。サステナビリティ、デジタル化、ダイバーシティ&インクルージョンなど、取り組むべき課題は時代とともに変化していますが、地域やお取引先の課題に向き合い、解決の道を模索し、サポートしていくという「あましんのDNA」、創業の志は、いささかも揺るぎません。

目標とする地域の明るい未来に向かってビジョンを共有し、そこへ向かう道筋を「未来を起点」に考え、行動するバックキャストの発想で地域・お取引先・職員の未来を想像し、知恵を出し、汗をかき、一丸となって明るい未来をデザインしていく「あましん」に、これからも引き続きご期待ください。

### BPR

Business Process Re-engineeringの略で、業務本来の目的に向かって既存の組織や制度を抜本的に見直し、プロセスの視点で職務・業務フロー・機構・情報システムをデザインし直すことをいいます。

### DX

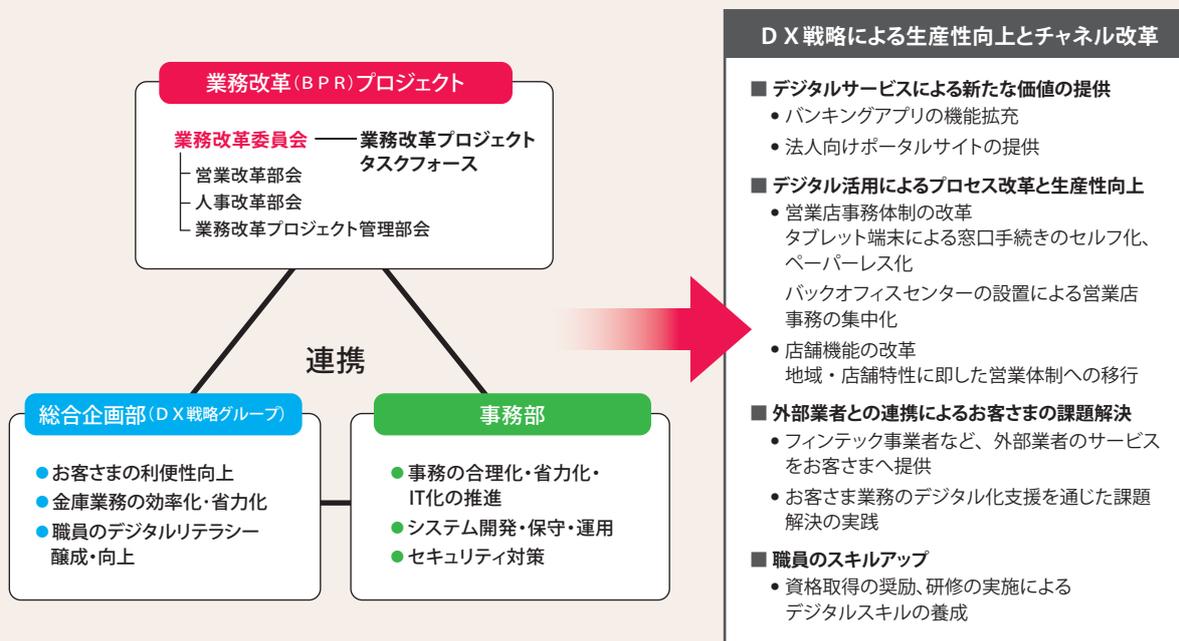
Digital Transformationの略で、「デジタル革新」や「デジタル変革」という意味の言葉です。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争力の優位性を確立することをいいます。

## Column

## ～DX戦略による生産性向上とチャネル改革～

デジタル技術の革新により、異業種からの金融サービスへの参入など、金融機関を取り巻く環境は大きく変化しています。また、インターネットやスマートフォンの普及に伴い、これまでの店舗やATMを通じて提供されてきた金融サービスの多くがデジタルチャネルを通じて利用可能となっています。〈あましん〉は、データやデジタル技術を活用してお客さま目線で新たな価値を創出するとともに、高度なデジタルソリューションの提供により、事業成長支援・地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

### あましんのDX推進への取り組み



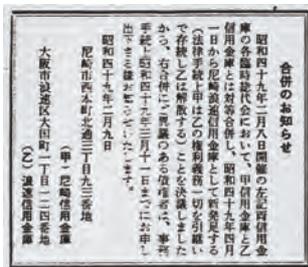
# あましんの「これまで」



●1921年  
「有限責任尼崎信用組合」創業

●1951年  
信用金庫法により  
「尼崎信用金庫」に改組

●1974年  
浪速信用金庫との合併により  
「尼崎浪速信用金庫」に改称



●1981年  
CD・ATMを  
全店に設置



●1982年  
外国為替公認銀行として  
外国為替業務開始



●1989年  
新本店竣工・金庫名称を  
「尼崎信用金庫」に



●1994年  
あましんのキャラクター  
“あまちゃん・しんちゃん”誕生

●1999年  
「がんばれ阪神タイガース  
定期預金」の発売開始



## ～1970年代以前

## 1980年代

## 1990年代

### 社会への貢献

●1967年  
尼崎市に  
「憩の森」を贈呈



●1978年  
財団法人信信地域振興財団を設立

●1981年  
尼崎市に「スタインウェイ・  
グランドピアノ」を寄贈

●1984年  
「昔の貯金箱博物館」  
(現・世界の貯金箱  
博物館) オープン



●1991年  
「第1回あましん  
少年サッカー大会」  
開催



●1997年  
尼崎市長より「尼崎市地域貢献活動賞」を受賞

### 社会情勢

●1949年  
1ドル360円の単一為替レート実施

●1964年  
東京オリンピック・パラリンピック開催  
東海道新幹線開通

●1970年  
日本万国博覧会(70年大阪万博)開催

●1981年  
神戸ポートアイランド博覧会  
(ポートピア'81)開催

●1989年  
平成に改元  
消費税導入

●1994年  
関西国際空港開港

●1995年  
阪神・淡路大震災

●1998年  
明石海峡大橋開通



●2001年  
「業種別審査スペシャリスト」養成スタート

●2010年  
兵庫県と「尼崎21世紀の森づくりの推進に関する協定」締結、県内で第1号の苗木の里親企業に



## 21世紀金融行動原則

●2012年  
「環境方針」を制定、21世紀金融行動原則に署名



●2017年  
「あましんグリーンプレミアム」信金初の環境大臣賞を受賞



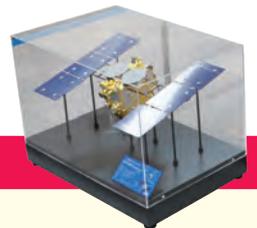
●2019年  
「あましんSDGs宣言」を制定・公表



●2021年  
尼信会館で地産地消のクリーンエネルギー使用開始



●2021年  
東京海上日動火災保険株式会社と「お取引先へSDGsを普及・促進するための連携協定」締結



### 2000年代

●2001年  
「尼信会館」オープン



●2007年  
金融教育プログラムあましん「おかね寺子屋」開講



●2010年 「あましん緑のプロジェクト」スタート



●2002年  
欧州統一通貨「ユーロ」流通開始

●2005年  
ペイオフ全面解禁

●2008年  
リーマン・ショック

### 2010年代

●2011年  
地域貢献活動「あまちゃん・しんちゃんプロジェクト」スタート



●2011年  
兵庫県警察本部にミニバトカー20台寄贈(尼信地域振興財団)



●2011年  
小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別展 in 尼崎を開催



●2011年  
東日本大震災

●2016年  
日本銀行「マイナス金利政策」導入

●2020年  
新型コロナウイルス感染症拡大

### 2020年代

●2021年  
小惑星探査機「はやぶさ2」帰還カプセル特別展 in 尼崎を開催



●2021年  
尼崎市に5,000万円を寄付、理工系大学生への育英資金創設へ(当金庫、尼信地域振興財団)



●2021年  
東京2020オリンピック・パラリンピック開催

# あましんの「いま」



大阪湾を囲むビッグエリアに90店舗と20店外キャッシュサービスコーナー

本支店 **86** | 出張所 **4** | 店外キャッシュサービスコーナー **20** | 合計 **110**

## 営業地区 [40市4町]

### 兵庫県

- 尼崎市
- 伊丹市
- 川西市
- 宝塚市
- 西宮市
- 芦屋市
- 神戸市
- 三田市
- 三木市
- 丹波篠山市
- 加東市
- 明石市
- 猪名川町

### 大阪府

- 大阪市
- 池田市
- 豊中市
- 箕面市
- 吹田市
- 摂津市
- 茨木市
- 高槻市
- 東大阪市
- 守口市
- 門真市
- 大東市
- 八尾市
- 堺市
- 松原市
- 藤井寺市
- 羽曳野市
- 富田林市
- 大阪狭山市
- 河内長野市
- 柏原市
- 寝屋川市
- 四條畷市
- 高石市
- 泉大津市
- 和泉市
- 枚方市
- 岸和田市
- 能勢町
- 豊能町
- 忠岡町

(2023年5月末現在)

## あましんの人材

金庫がめざすビジョンの実現に向け、将来を見据えた人員計画、適正な人材配置、スキル判定の高度化、必要な職種の人材育成を含めた人事戦略を進めていくとともに、風通しの良い職場風土の醸成により、職員が金庫で働くやりがいや喜び、自身の成長が実感できる環境づくりを進めています。



# あましんの「いま」

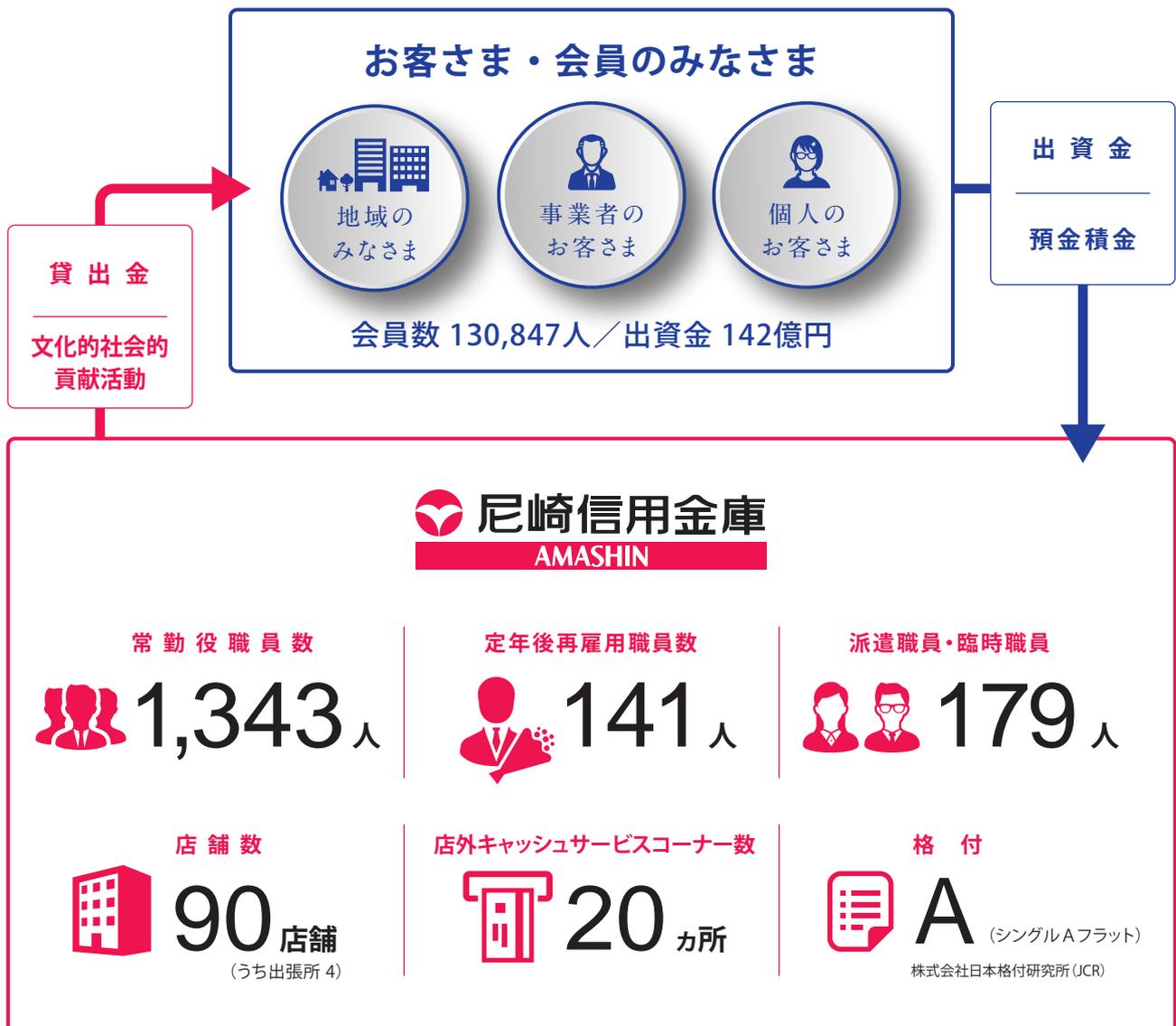
金融サービスの提供を通じて、これからも地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

## 地域との共存共栄が〈あましん〉の使命です

当金庫は阪神間を中心とする40市4町を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となってお互いに助け合い、お互いに発展していくことを目的とする相互扶助の理念のもと「地域との共存共栄」をめざして運営されている協同組織金融機関です。地元のお客さまからお預かりした大切な資金は地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業の繁栄や豊かな暮らしのお手伝いをしています。

今後も当金庫は金融サービスの提供を通じて地域経済の持続的な発展に努めていくことはもちろん、地域住民の一員として地域貢献活動に取り組み、環境・安全・教育・文化といった幅広い分野で地域の活性化に貢献してまいります。

### 持続可能な社会の実現 地域活性化



(2023年3月31日現在)

## 2022年度の業績ハイライト



### ■ 損益状況

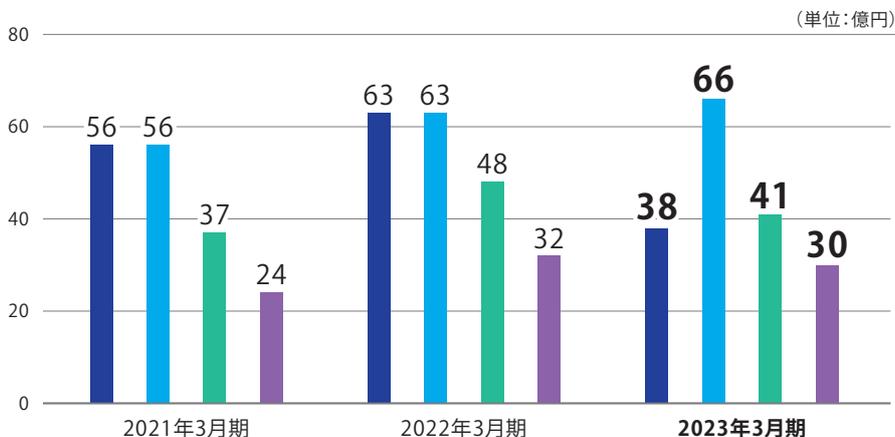
金融機関を取り巻く収益環境が厳しい中、業務純益38億円、経常利益41億円、当期純利益30億円を計上しました。

また、金融機関としての本来的な収益力を示すコア業務純益は、66億円と安定した収益基盤を維持しております。

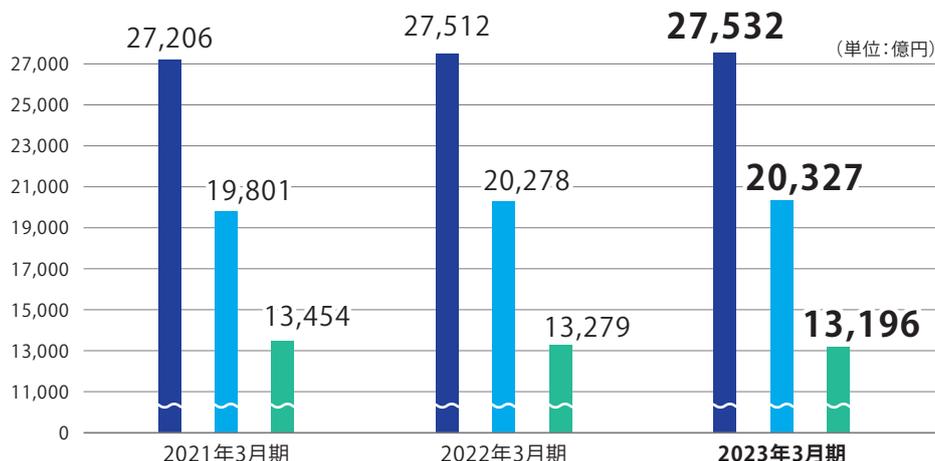
当金庫は、これからも地域・お客さまの持続的発展や課題解決に貢献し、ともに成長できる好循環の実現に努めてまいります。

### ■ 事業の状況を示す指標

業務純益・コア業務純益・  
経常利益・当期純利益  
の推移



預金積金残高・  
個人預金残高・  
貸出金残高の推移

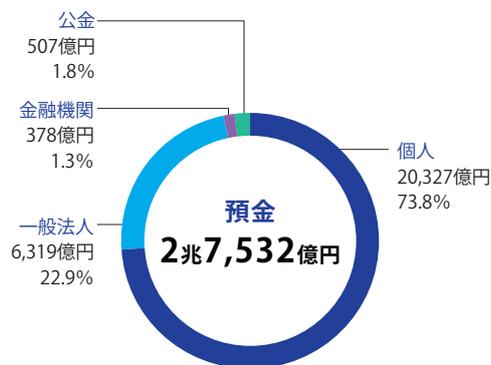


### 預金積金

預金積金残高は、個人預金を中心に増加し、期末残高は2兆7,532億円となりました。総預金に占める個人預金の割合は73.8%となりました。

また、「がんばれ阪神タイガース定期預金」は総残高で2,480億円のお預入をいただきました。

■ 預金の預金者別内訳

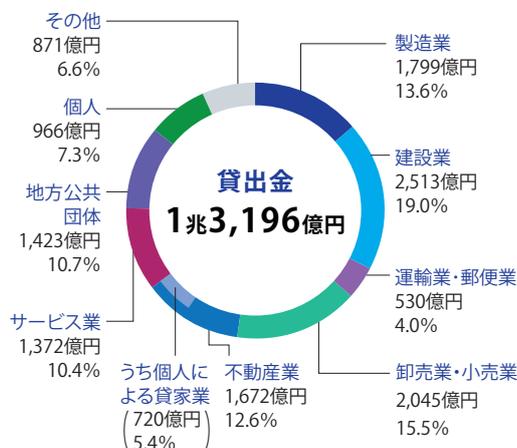


### 貸出金

貸出金残高は、お取引先の経営課題やニーズを的確に把握し、対話を通じた伴走支援に積極的に取り組みました。

また、小口先数主義を徹底し、事業性評価による金融仲介機能の発揮に努めました。その結果、期末残高は1兆3,196億円となりました。

■ 貸出金の業種別残高内訳

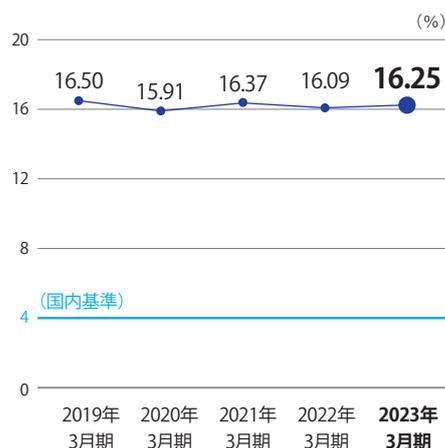


### 自己資本比率 (国内基準・単体)の 状況

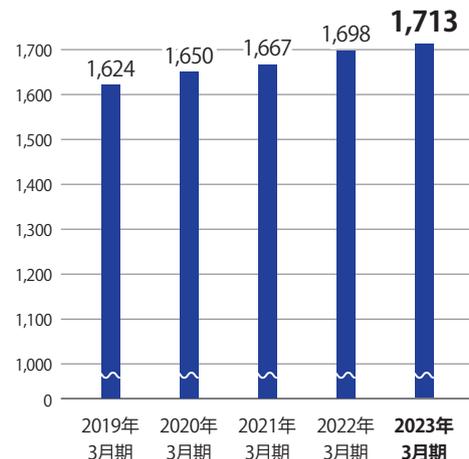
当金庫では、資本の有効活用の観点から、適切なリスク管理のもと、地域のお客さまに対する金融仲介機能の積極的な発揮に努めるとともに、有価証券運用では中長期的な観点に立って期待リターン

の高い国際分散投資を着実に進め、経営の健全性維持と収益力向上の両立をめざしています。2022年度は、コロナ禍や原材料高の影響等から貸出の資金需要が伸び悩んだほか、海外金利上昇等による運用環境の悪化を踏まえ、有価証券や預け金による市場運用を慎重化させたため、リスク・アセットも減少に転じ、自己資本比率は、16.25%と前期末比で0.16ポイント改善しました。引き続き国内基準(4%)を大きく上回り、高い健全性を維持しております。

■ 自己資本比率(単体)の推移



■ 自己資本額(単体)の推移



信用金庫法開示債権  
及び  
金融再生法開示債権  
の保全・引当状況

金融再生法開示債権における不良債権残高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響、国内外の不安定な情勢、資源価格の高騰など、将来の不確実性に備え適正な引当を実施した結果、2022年3月末に比べて8億円増加しました。また、不良債権比率は5.58%と前期末より0.1ポイント上昇しました。  
これまで同様、不良債権に対する適正な引当を行い、厚い内部留保とあわせて万全の備えをしています。

■信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:億円)

区 分	2021年度	2022年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	56	60
危険債権	673	678
要管理債権	5	5
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	5	5
小 計(A)	735	743
保全額(B)	676	688
個別貸倒引当金(C)	58	53
一般貸倒引当金(D)	0	0
担保・保証等(E)	617	635
保全率(B) / (A) (%)	91.9%	92.6%
引当率((C) + (D)) / ((A) - (E)) (%)	49.8%	49.4%
正常債権(F)	12,660	12,571
総与信残高(A) + (F)	13,395	13,315
不良債権比率(A) / (A) + (F) (%)	5.48%	5.58%

■金融再生法ベースによる不良債権比率と残高推移

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

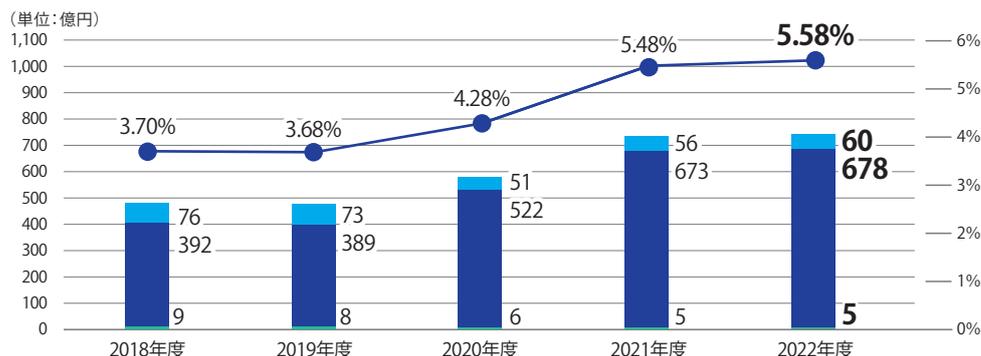
危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

要管理債権

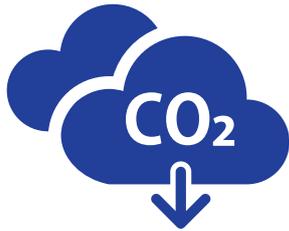
「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金。

●●● 不良債権比率



# Pre-financial information

あましの非財務ハイライトについてご紹介します。



③ CO<sub>2</sub>排出量<sup>※1</sup>

3,115 t



③ ガス使用量に係る  
CO<sub>2</sub>排出量<sup>※1</sup>

150 t

③ 電気使用量に係る  
CO<sub>2</sub>排出量<sup>※1</sup>

2,965 t



③ 地域貢献活動<sup>※2</sup>



尼崎市わがまちクリーン運動  
延べ参加人数

792 人



尼崎21世紀の森 除草・間伐活動  
延べ参加人数

122 人

③ 次世代への金融教育<sup>※2</sup>  
(おかね寺子屋、  
金融経済教育セミナーの実施)

2校・11クラス

390 人



③ 職員1人あたりの  
人材育成費用<sup>※2</sup>



29,512 円

**E**…Environment (環境)    **S**…Social (社会)    **G**…Governance (ガバナンス)

**S** 兵庫県メインバンク調査  
(株式会社帝国データバンク 2022年12月公表)



阪神南地区シェア1位  
**34.31** %

阪神北地区シェア1位  
**25.28** %

**S** 有給休暇平均取得日数<sup>※2</sup>

**10.7** 日



**S** 永年勤続表彰者数<sup>※2</sup>

30年 **31** 人    20年 **46** 人



**G** コンプライアンス  
関連研修受講人数<sup>※2</sup>

**847** 人

**G** SCO (シニアコンプライアンスオフィサー)  
合格者 (2023年3月末時点)

**435** 人

**G** ACO  
(アシスタントコンプライアンスオフィサー)  
合格者 (2023年3月末時点)

**574** 人

**S** 格付

**A**

A (シングルAフラット)  
株式会社日本格付研究所 (JCR)  
(2022年10月28日取得)

※1…2021年度実績数字    ※2…2022年度実績数字

# あましんの「これから」

あましんは、地域やお取引先の新たな価値を創造することで、持続可能な社会の実現、地域活性化に努めています。

## あましんの経営資源・基盤

### 財務資本

- 健全な財務・収益基盤
- 充実した自己資本
- 健全な貸出資産
- 高度なリスク管理

### 人的資本

- 多様な人材
- 長い歴史と経験で培った高い専門性とノウハウ

### 社会関係資本

- お客さまとの豊富な接点
- 地域に密着した店舗ネットワーク
- 高い取引シェア

### 知的資本

- 地域社会に貢献する姿勢と実践
- 事業性評価を通じた多様なソリューションの提供
- グループ全体の総合力

顧客基盤、人材、  
財務基盤、営業基盤

## あましんのビジネスモデル・事業活動



地域

地域における  
圧倒的な  
存在感の発揮

地域貢献活動

### 地域とともに

- 地域連携と交流を通じた地域の魅力創造・発信
- 地域における商社機能の発揮
- 持続可能な経済・社会づくりの取り組み促進

あましんの  
持続可能な  
ビジネスモデル

事業計画3つの視点



職員

コンサルティング機能の発揮と地域貢献活動を起点とした「あましの持続可能なビジネスモデル」に、新たな時代に求められる地域金融機関としての取り組みを加え、すべてのステークホルダーに喜びと感動を提供し、「ともに成長」することをめざしています。

## ともに成長

めざす姿実現のために

あましのめざす姿



お取引先

地域に  
なくてはならない  
金融機関

コンサルティング活動

### お取引先とともに

- ソリューション営業の高度化、外部機関との連携強化
- 預り資産販売からライフプランサポートへの展開
- 課題発見力、対話力を軸とした営業力の強化

<あましん>の3か年事業計画

### 1st STAGE

2022年4月~2025年3月

ステークホルダー（地域・お取引先・職員）の感動を呼び起こす存在へ

#### あましの強み

- あましんビジネスモデル
- 顧客基盤・取引シェア
- お客さま・地域からの信頼・つながり
- 少数精鋭を可能とする業務スキル

強化

あましの総合力を  
アップし、地域における  
プレゼンスを強化する

#### あましの課題

- コスト意識
- DXの推進・システム投資
- BPR（業務フロー改革）

改革

収益性・生産性・効率性を  
飛躍的に改善する

#### 活性化のポイント

- チャレンジ意欲
- 部分最適→全体最適
- 迅速性・柔軟性 ● ボトムアップ

確立

職員満足度の向上とチャレンジ  
できる企業文化を確立する

すべての  
ステークホルダーに  
喜びと感動を提供する  
<あましん>



お取引先

経営課題の解決、企業価値の向上  
安定的な資産形成



地域

地域経済の持続的発展  
脱炭素などの環境保全



職員

能力を最大限に発揮でき、働きがいのある職場  
多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを実現

# The Past Year's Efforts

あましんの1年間の取り組みをお伝えします。

当金庫は、創業以来「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済の活性化と持続的な発展、魅力ある地域社会づくり、環境保全の持続的な取り組みなど、地域社会の発展を常に考えた事業活動に取り組んでいます。



5月

チャレンジャーズと  
オフィシャルスポンサー契約を締結

地元のアメフトチーム・アサヒ飲料クラブ  
チャレンジャーズをサポート。チャレ  
ンジャーズと協働し、地域の活性化に努めて  
います。



7月

当金庫ホームページに  
「360°VIRTUAL TOUR」  
を開設

4月

尼信記念館をリニューアル



7月

環境省「ESG地域  
金融促進事業」への採択

環境省が実施する「令和4年度ESG  
地域金融促進事業」の支援先機関  
に採択されました。

6月

「パートナーシップ  
構築宣言」を公表

神戸大学とESGの  
共同研究を開始

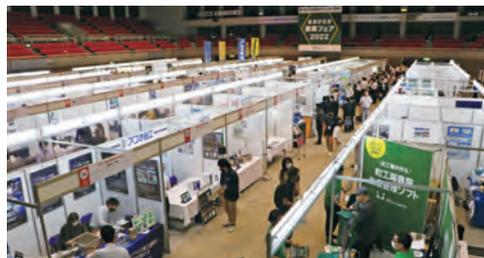
神戸大学経済経営研究所とESG要素を考慮  
した事業性評価のあり方や中小企業の現状  
課題と実効性のある経営改善・事業性支援  
について共同研究を行っています。

7月

あまがさき産業フェア2022

2022

5月



# 11月

## 世界の貯金箱博物館が出張授業

「360°VIRTUAL TOUR」を活用した「出張!世界の貯金箱博物館」を初開催。この出張授業は、実際に博物館を訪れたような映像を見ながら、地域の方々や子どもたちに、貯金箱の歴史や豆知識、お金の大切さを授業形式で学んでいただくものです。



# 3月

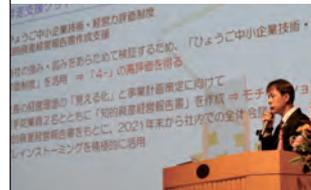
大阪・関西万博に  
「共創パートナー」として  
参画

1月 高校生向け  
金融教育をスタート

# 1月

兵庫県「伴走支援  
グッド・プラクティス」に選定

お取引先への伴走支援の取り組みが、兵庫県地域支援金融会議主催の「伴走支援グッド・プラクティス発表会」において好事例として選出されました。



# 2023

# 10月

「無事故・無違反運動  
(チャレンジ100)」に  
役職員1,000人が参加



# 12月

第12回  
「あましんグリーンプレミアム」  
授賞式を開催



# 2月

「紺綬褒章」を受章

当金庫と尼信地域振興財団が尼崎市に行った寄付に対して内閣総理大臣名の褒状を拝受しました。寄付金は、理工系大学生などに対する奨学金事業に活用いただいています。



# 11月

持続性推進機構と  
包括連携協定を締結

個別の金融機関としては初めて一般財団法人 持続性推進機構と協定を締結。エコアクション21の普及・促進のほか、お取引先企業の環境経営や脱炭素化支援を推進しています。



あましん



地域社会

# あましんが 地域と一緒に、 できたこと。

What Amashin has accomplished,  
working with the community.

金融機関には、  
お客さまの大切な資産をお預かりし、  
資金や金融サービスを企業や  
個人のお客さまに提供することで、  
社会・経済の健全な発展を  
支える役割があります。  
当金庫では、地域のお客さまへの  
ご融資を通じて、地域経済の  
持続的発展に努めています。



## 法人のお客さま

当金庫は、中小企業専門の金融機関として「日本を支える中小企業」の事業経営・成長をサポートすることにより、地域経済の持続的発展・活性化に貢献しています。

## コンサルティング活動

当金庫は、お取引先へのコンサルティング活動を通じて“お客さまから選ばれる金融機関”をめざしています。日々の会話から得られるあらゆる情報を営業店と本部で共有し、関連・グループ会社や専門機関と連携してお取引先企業のライフステージにあわせたコンサルティングと最適なソリューションの提供を追求しています。また、目利き力を高め、担保や保証に過度に依存しない事業性評価に基づいた融資に積極的に取り組んでいます。



### 企業のライフステージにあわせたコンサルティング



### ライフステージ別の経営支援体制(全与信先17,934先、融資残高合計8,744億円)

ライフステージの  
区分

- 創業期：創業、第二創業から5年まで
- 成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超
- 安定期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%~80%
- 転換期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満  
および貸付条件の変更または延滞がある期間  
(融資残高は2023年3月末)

2023年3月末時点で、当金庫をメインバンクとしてお取引いただいている企業(8,654先・融資残高5,787億円)のうち、経営指標の改善が見られた先は6,025先、経営改善先に係る融資残高(年度末)の推移は、2021年は3,216億円、2022年は3,415億円、2023年は4,126億円となっています。また、事業性評価先数は8,401先・融資残高5,651億円で全融資先・残高に占める割合は、先数46.8%・残高64.6%となりました。



## スタートアップ支援



創業相談会を定期開催するほか、起業・創業イベントやビジネスプランコンテストなどへの参画、事業の将来性や成長性を適切に評価する「創業支援融資」「あましん創業・成長サポートファンド」などの資金面でのサポートに積極的に取り組んでいます。2022年度に当金庫が関わった創業・第二創業支援件数は1,411件となりました。

※設立5年未満の企業への融資、創業融資の取組件数、創業塾参加者数などの合計

## 海外ビジネス支援



海外での駐在経験者や外国為替の担当者など、専門知識を持った職員が支店担当者とともに信金中央金庫や海外の銀行をはじめとする提携企業と連携して、お取引先企業の海外ビジネスをトータルでサポートしています。信用状(L/C)取引や海外への送金、海外からの送金受取りなど、貿易(輸出・輸入)取引もお手伝いしています。



## 経営改善・事業再生支援



お取引先の経営改善・事業再生支援については、価値創造事業部を中心に営業店と本部が一体となって事業の早期再生をお手伝いしています。経営に関するアドバイスをはじめ、各種セミナー・相談会の開催、外部専門機関への橋渡しなどを行っています。当金庫が経営改善を支援している先は、2023年3月末時点で1,334先となっています。

## 事業承継・M&A支援



お取引先が抱える多種多様な相続ニーズにお応えし、価値創造事業部の専門スタッフが営業店や外部専門機関等と連携して課題の解決に取り組んでいます。事業承継支援セミナーや個別相談会の開催、税理士資格を持つ職員による自社株の概算株価試算、M & Aの仲介サポートなどスムーズな事業承継のお手伝いをしています。



## 経営者保証に関する ガイドラインへの取り組み

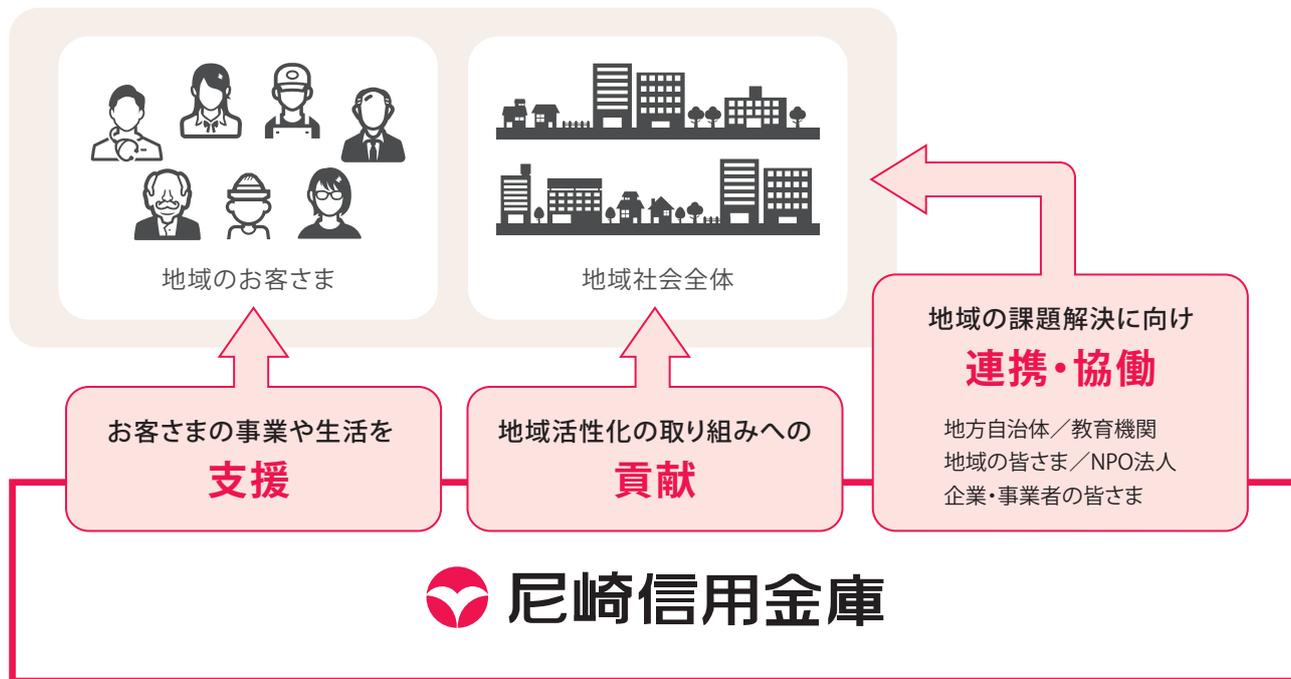


当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を踏まえて策定した「経営者保証に関する取組方針」に基づき、ご融資における個人保証の必要性を、お客さまとの対話を通じて十分に検討し適切に対応しています。2022年度に当金庫が新規に無保証で融資をした件数は9,249件、新規融資に占める割合は33.46%、保証契約を解除した件数は206件となっています。

※「経営者保証に関する取組方針」の詳細は、資料編P.55をご覧ください。

## 地域の経済発展を支援

当金庫は「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済の活性化と持続的発展に努めています。



## ビジネス情報誌「TeToTe」



地域経済の活性化をめざすビジネス情報誌「TeToTe」。  
〈あましん〉だからこそできる「人」「まち」「仕事」をタイムリーに取り上げ、地域の皆さまとの懸け橋となるよう情報発信に取り組んでいます。



◀「TeToTe」は、当金庫のホームページからご覧いただけます。



## あましん経営相談コーナー



本店営業部2階の「あましん経営相談コーナー」では、中小企業診断士などの資格を持つ専門スタッフが、経営に関するあらゆるご相談にお応えしています。お気軽にご相談ください。

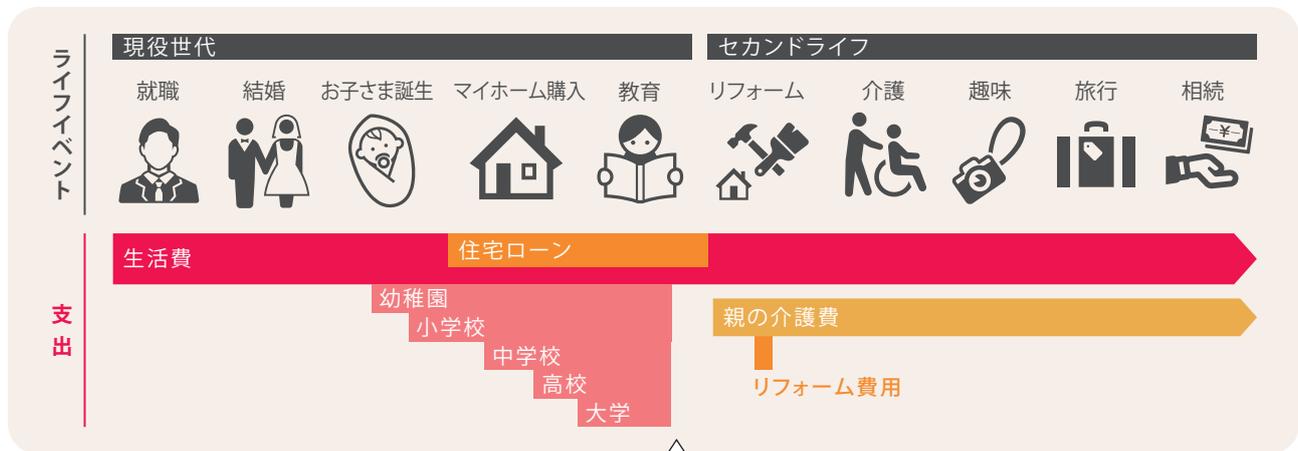
ご利用時間 平日9時～15時  
住所 尼崎市開明町3-30 本店営業部2階

まずはお電話ください。

☎ 0120-26-0556 (平日9時～17時30分)

## 個人のお客さま

当金庫は、個人のお客さまのライフスタイルや資産状況・ニーズに応じて最適なアドバイスを行い、将来設計（ライフプラン）実現をサポートします。



ライフステージに応じた商品で、ライフプラン実現をサポートします

- |       |       |        |        |
|-------|-------|--------|--------|
| 定期預金  | 投資信託  | 生命保険   | 信託商品   |
| 住宅ローン | 教育ローン | フリーローン | カードローン |

## 多様化するニーズに最適な提案をめざして



当金庫は個人のお客さまのライフプランに応じた最適なソリューション提案を実現するため、2023年4月よりタイプ別の渉外係を配置しています。一人ひとりのお客さまに寄り添い、本部各部署と連携し、幅広い金融サービスの提供を通じて、お客さまの大切な資産を守る、活かす、育てるお手伝いをしています。



## 各種セミナー、年金相談会などを開催



当金庫では、お客さまの多様なニーズにお応えするため、資産運用・相続などに関するセミナーを開催しています。また、各営業店では定期的に年金相談会（予約制・無料）を開催しています。相談会では、専門のスタッフが年金の受給資格や請求手続きなどについてのご相談にお答えしています。年金相談会については、お気軽に本支店窓口までお問い合わせください。

## SDGsへの 取り組み

当金庫は、創業以来「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済の活性化と持続的な発展、魅力ある地域社会づくり、環境保全の永続的な取り組みなど、地域社会の発展を考えた事業活動に取り組んでいます。



[Message]

## 持続可能な社会の実現のために、 地域とともに進むあましん。

執行役員 営業統括部 部長 兼 地域支援グループ長 井上 公宏

「あましんグリーンプレミアム」は、環境問題に対する地域の皆さまの取り組みにスポットを当てることで、持続可能な地域づくりの機運を高めていこうと2011年に創設しました。2019年には「あましんSDGs宣言」を公表。2022年からは企業のSDGsへの取り組みを支援する「あましんSDGsサービスパッケージ」の取り扱いを開始。具体的・継続的な伴走支援を行っています。また、神戸大学との共同研究のなかでESGを考慮した事業性評価手法の構築をめざすなど、地域の力を結集して持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

## あましん SDGs宣言

私たちは、地域社会の発展を常に考えた事業活動の推進を通じて、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献し、地域の社会的課題解決と経済成長の両立をはかり、持続可能な社会の実現に努めてまいります。



2019. 10. 10  
尼崎信用金庫 理事長 作田 誠司

### 重点項目（ターゲット 2030）

#### 地域経済の活性化と持続的発展



質の高い金融サービスの提供を通じて地域経済の活性化に努めるとともに、「考動提案・支援育成型」のコンサルティング機能の発揮により地域における創業や事業拡大等を支援することで地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

#### 魅力ある地域社会づくりへの貢献



芸術・文化の発信基地として、地域の金融教育、芸術・文化支援活動を積極的に行うことで魅力ある豊かなまちづくりに貢献いたします。

#### 環境保全の永続的な取り組み



環境負荷低減に取組むとともに、「環境保全に寄与する金融サービス」を活用した環境配慮型企業・環境分野へのサポート、ならびに環境保全に取組む個人・団体への助成等環境文化の創造により地域の自然環境の維持・保全に貢献してまいります。

## 地域経済の活性化と持続的発展

### お客さま向けSDGsコンサルティング

近年、大企業をはじめ中小企業においてもSDGsに対する関心が高まっており、社会や企業自身の持続的な成長に向けた取り組みが求められています。当金庫では、SDGsの理解・浸透から事業計画への反映、取り組み状況の検証など、お取引先のSDGsの目標達成に向けて継続的な伴走支援を行い、お取引先の企業価値や競争力の向上に努めています。

\ お客さまのSDGsへの取り組みを促進・支援します! /

## あましんSDGs サービスパッケージ

**名称** あましんSDGsサービスパッケージ

**ご利用いただける方** 当金庫とお取引のある法人(個人事業主を含む)のお客さま

**ご利用料金** 初年度/110,000円(税込) 2年目以降/55,000円(税込)

**サービス内容**

- 1 お客さまのSDGsの取り組み状況を可視化し、診断結果レポートを作成
- 2 診断レポートに基づき、お客さまの「SDGs宣言書」策定をサポート
- 3 お客さまの「SDGs宣言書」策定後、目標達成に向け継続的なサポート
- 4 ご要望によりお客さまのSDGs取り組み状況を同業他社と比較が可能

※本サービスは東京海上日動火災保険株式会社、ならびに株式会社グローバルキャストが尼崎信用金庫に提供するSDGs取り組み診断ツールを活用して、当金庫が独自に提供するものです。

本サービスでは、お取引先のSDGsへの取り組みを促進・支援するため、SDGsの取り組み状況をオリジナルの評価方法にて「見える化」します。



### 大阪・関西万博に 「共創パートナー」として参画

当金庫は、大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創パートナーに2023年3月に登録されました。「TEAM EXPO 2025」は、さまざまな人たちがチームを組み、多様な活動で大阪・関西万博とその先の未来に挑む、みんながつくる参加型のプログラムです。大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現と誰もが安心して暮らせるサステナブルな社会形成のため、当金庫は「共創パートナー」として、これまで培ってきたリソースを活かし、各地域で活動する企業や団体の皆さまとの協働により、地域社会の活性化を図ってまいります。



## 魅力ある地域社会づくりへの貢献

### 地域貢献活動

#### あまちゃん・しんちゃんプロジェクト

創業90周年を機に地域や自治会の皆さまのニーズ(地域の課題)にお応えし、より地域との連携を深めるために「本業のひとつとして能動的に参画する活動」をめざしてスタートした「あまちゃん・しんちゃんプロジェクト」。2020年度からは「あましんSDGs宣言」の重点項目を意識した活動内容へと転換を図っています。これまでの活動で得た地域とのつながりを活かし、さらなる活動の深化を図るため、自らが起点となり、地域の課題解決に向けて役職員が一丸となって取り組んでいます。



#### 未来を担う子どもたちにSDGsに関する絵本を寄贈

2022年12月15日、当金庫は、「SDGs応援融資」取り組みの一環としてSDGsに関する絵本9セットと絵本棚を芦屋市こども・健康部ほいく課に寄贈しました。当金庫では2019年10月に「あましんSDGs宣言」を表明し、SDGsの取り組みを事業に活かしている、またはこれから活かそうとされる企業や個人事業者をご支援する商品として「SDGs応援融資」を取り扱っています。この商品では、SDGsの趣旨に賛同し、地域課題の解決に寄与されている組織、団体などへ寄付することとしています。芦屋市では市立保育所など9園に「SDGsえほんコーナー」を設け、子どもたちがSDGsについて学べるよう蔵書として活用されています。

#### 金融教育への取り組みについて

2007年6月から、未来を担う地域の子どものために「金融の基礎知識やお金の大切さ」を学んでもらうための金融プログラムとして、あましん「おかね寺子屋」を実施しています。開始以来、延べ91校、約7,300人の児童・生徒の皆さんが参加しています。(2023年3月末日現在)

また、2022年度からは高等学校における学習指導要領の改訂や、成年年齢の引き下げ施行を受け、地域の高校生を対象に「あましん金融経済教育セミナー」を開講しました。「卒業後、安全で豊かな人生を送るための第一歩」として金融や経済の知識を身につけてもらうため『これから必要なお金について』や『お金のトラブル』などをテーマに当金庫職員が講義を行っています。2023年1月、第1回目の出張先として兵庫県立鳴尾高等学校の1年生(8クラス)を対象に出張授業を行い、約300人が受講しました。



## 芸術・文化・スポーツの振興



### 世界の貯金箱博物館

世界62カ国、24,000点を超える貯金箱を収蔵する世界最大級の貯金箱博物館。尼崎にひとつの“文化の器を”との思いから、1984年4月にオープンして以来、地域の皆さまをはじめ県内外の貯金箱ファンの皆さまに愛されています。



### 尼信会館

2001年6月、創業80周年記念事業の一環としてオープンした尼信会館。館内の「城下町尼崎展」では、国の重要文化財「太刀銘守家」など、歴史的に貴重な資料を展示。また「コインミュージアム」では、当金庫が保有する世界170カ国の金貨・銀貨等を展示しています。随時特別展を開催していますので、ぜひご来館ください。

### 一般財団法人 尼信地域振興財団

1978年1月に当金庫が基金全額を出資して設立した尼信地域振興財団は、地域の皆さまの長年にわたるご愛顧に感謝し、財団の活動を通じて青少年の育成、地域文化の振興など、地域に根差した活動を行うことを目的としています。

2022年度の助成は約1,100万円(47件)、寄付は250万円(1件)。設立からの助成総額は7億6,900万円、寄付総額は3,250万円となっています。



### あましんサッカー大会

創業70周年記念事業として、1991年にスタートしました。当金庫は、サッカー大会の定期開催を通じて、地元阪神間の子どものためのふれあいの場を広げ、技術の向上、将来の夢の実現のお手伝いをしています。



### 尼信ブラスフェスティバル

創業80周年記念事業の一環として、2001年11月にスタートしました。毎回たくさんの吹奏楽ファンにお楽しみいただいています。



## 環境保全の永続的な取り組み

### 環境保全の推進



### あましんグリーンプレミアム

「あましんグリーンプレミアム」は、環境改善に寄与する地域の皆さまの優れた技術や製品・工法、取り組みやアイデアにスポットをあて表彰する制度で、新技術の開発や環境文化の創造につながることを願い、2011年に創設しました。

第12回「あましんグリーンプレミアム」では、2022年6月1日から8月19日までの間に環境事業部門・環境活動部門・環境アイデア部門の3部門で133先から134件の応募をいただきました。

1次・2次の書類選考とプレゼンテーションによる最終選考の結果、最優秀賞には鋼材に発生する赤錆を発生抑制

の強い黒錆に酸化還元・転換し、鉄の腐食を防ぐ処理材を開発したアロウイング株式会社が選ばれました。



### あましん緑のプロジェクト

当金庫は、地元企業として環境保全活動に積極的に取り組むため〈あましん緑のプロジェクト〉を立ち上げ、尼崎市沿岸の国道43号線以南の臨海地域に緑豊かな環境をつくり、人と自然の共生をめざす兵庫県の「尼崎21世紀の森づくり」に2010年から参画しています。

2022年6月には、地域の皆さまと当金庫役職員が「10年かけて植樹し、100年かけて森を育てる」という大きな目標に向かって取り組む姿勢が高く評価され、一般社団法人全国信用金庫協会の第25回社会貢献賞において「Face to Face賞」を受賞しました。

10年かけて植樹するという大きな節目を終え、2022年からは除草・間伐活動など森を育てる育樹活動に力を注いでいます。



# 「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」 提言への賛同・開示

～地域一体となった社会課題への対応をめざします～



当金庫は、創業以来「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済・社会の発展を常に考えた事業活動に取り組んでまいりました。また、2019年10月には「あましんSDGs宣言」を表明し、「地域経済の活性化と持続的発展」「魅力ある地域社会づくりへの貢献」「環境保全の永続的な取組み」を重点項目として、SDGsの目標達成に向けた活動に積極的に取り組んでいます。

2023年4月、脱炭素社会への移行や持続可能な社会の実現にこれまで以上に貢献していくため、TCFD提言への賛同を表明しました。サステナビリティ体制を強化し、TCFD提言を踏まえた気候変動にかかる情報開示の充実に努めるとともに、これまで推進してきた社会・環境課題解決への取り組みをさらに発展させ、持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。

「TCFD 提言」とは

金融システムの安定化をめざす国際的組織の「金融安定理事会（FSB）」により、気候関連の情報開示および金融機関の対応を検討するために設立された気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）の提言で、気候変動関連のリスク・機会の評価や財務的影響の分析・開示を推奨しています。

## あましんの 人材と働き方

当金庫は、職員一人ひとりの多様性を尊重し、職場環境の整備に努めるとともにお客さま・地域社会から必要とされる人材の育成に積極的に取り組んでいます。すべてのステークホルダーに喜びと感動を提供する〈あましん〉をめざして、「地域における存在感」「お取引先からの期待感」「職員の満足感」の3つをキーワードとして掲げ、これこそが信用金庫の姿だと認められ職員も実感できる取り組みを進めています。

[Message]

### 働き方は、十人十色。 一人ひとりに寄り添う人事を。

経営管理部 係長(人事戦略グループ) 山中 晴子

出産・育児、介護などのライフイベントをはじめ、長い人生の中には同じ条件、同じコンディションで働き続けることが難しい局面はたくさんあります。かつては「仕事かプライベートか」の二者択一を強いられた時代でしたが、「仕事もプライベートも」充実させる時代へと社会は変化しています。あましんでも職員一人ひとりに寄り添い、多様な働き方を可能とする環境をめざしています。職員の地域への熱い思いと、自身のライフプランを高い次元で両立できるよう、人事戦略グループとして挑戦を続けています。

## 人材活躍推進に 関する方針

「まずはやってみよう!」という職員の前向きなアクションにつながる環境整備に取り組んでいます。職員の知識・スキルを向上させるとともに、「公平公正で納得感があり、頑張った職員が適正に評価される人事制度」の確立を進めています。一人ひとりが能動的・自律的に自身のキャリアプランを描き、エンゲージメントを向上させることによって、地域やお取引先に対して「ともに価値を創出し成長に貢献するパートナー」としての存在感を発揮できることが目標です。

### 平均年齢

38.9 歳

### 平均勤続年数

15.2 年

### 1人あたり研修費の推移

(単位:円)



## 職場環境の整備

当金庫は、職員が「企業人」とするとともに「地域住民」としての役割が大切であると考えており、ボランティア活動を目的とした休暇を設け、地域住民の一員として活動できるよう支援しています。2010年5月、次世代を担う若い職員のために、より働きやすい職場環境を整備することが大切であると考え、厚生労働省より認定を受け、「次世代認定マーク(愛称:くろみん)」を取得しました。2017年度には育児休業の制度をさらに充実したものに改正し、育児休業を取得することができる対象者を生後満3歳に達しない子を育てる職員にまで、また、短時間勤務制度(キッズ・サポート勤務制度)を利用できる対象者を小学4年生以下の子を養育する職員にまで広げ、子育てをしながらでも働くことができる職場環境の整備に努めています。そして、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業として「女性の活躍推進企業データベース」に、仕事と家庭の両立、女性活躍推進への取り組みを掲載しています。



### ■ 当金庫の主なワーク・ライフ・バランス施策

#### 就業継続の支援

- 育児休業制度
- 介護休業制度
- 家族介護休暇(有給休暇)
- 保育休暇(有給休暇)
- 配偶者の出産のための父親の休暇(特別休暇)
- 子の看護のための休暇(特別休暇)
- 家族介護のための休暇(特別休暇)
- 短時間勤務制度(育児・介護)
- 再雇用制度

#### 「非」労働時間の充実

- 連続休暇(有給休暇)
- フリープラン休暇(有給休暇)
- 各種厚生施設・各種契約施設
- 記念日休暇(有給休暇)
- 定時退店日の設定
- 各種クラブ活動

#### 健康管理の支援

- 健康増進休暇(有給休暇)
- ストレスチェック
- 婦人科検診の積極的な奨励
- 職員悩みごと相談窓口の設置
- ハラスメントに関する相談窓口の設置
- 定期健康診断
- がん検診の積極的な奨励
- 人間ドック
- 職員心の相談室の設置

#### キャリア開発支援

- コース別人事管理制度
- 業種別審査スペシャリストの養成
- e-ラーニング
- 職員転換制度
- コース転換制度
- ホリデースクール
- 資格手当制度
- 尼信図書館の設置

### ■ ワーク・ライフ・バランスに向けた主な取り組み実績

(人)

	2020年度	2021年度	2022年度
短時間勤務制度 ※1	64	74	71
育児休業制度 ※2	69(5)	78(8)	82(23)
コース転換制度 ※3	1	38	44

※1 所定就業時間を短縮し、仕事と育児・介護の両立を支援する制度です。

※2 性別に関わらず、安心して育児に専念できるよう取得を奨励しています。( )内は男性の取得者数。

※3 一般職から総合職へコース転換することにより仕事の幅を広げ、管理職をめざします。

#### VOICE

一般職で入庫し、総合職へ転換。その後、産休・育休を取得し、現在は短時間勤務制度を利用しながら働いています。上司や同僚の育児に対する理解も深く、子どもの突然の体調不良には看護休暇等を活用しています。充実した制度と周囲の温かいサポートに感謝し、これからも仕事と家庭をしっかりと両立させたいと思います。



北難波支店 係長  
安田真由美

#### VOICE

休日は、母校(大学)の硬式野球部でコーチをしています。学生と一緒に体を動かすことで良い気分転換にもなっています。また、平日に大会が入ることもあります。支店の方の協力もあり、休暇を取得しやすい環境をつくっていただいています。周りのサポートに感謝し、仕事・プライベートともにさらに充実させたいと思います。



苦楽園支店  
小原大輝

## 研修体系

当金庫は、人材が最も重要な経営資源であると考えており、職員の能力開発を支援する態勢を整備し、多様化する金融業務に適切に対応していくための専門知識・提案能力の向上をめざす人材の育成に積極的に取り組んでいます。



## 専門人材の育成

### ■ 業種別審査スペシャリスト

当金庫は、事業そのものや成長性、収益力、技術力など事業の無形資産や企業価値を的確に見極めることができる「目利き力」の養成をめざし、2001年7月から製造業や流通業など主要6業種の「業種別審査スペシャリスト」の養成を行っています。



### ■ 信金中金・信金キャピタルトレーニー

職員の専門的な業務知識の向上とスキルアップを目的として、信用金庫の上部団体である信金中央金庫や信金キャピタルへのトレーニーを実施しています。

信金中金トレーニーでは海外業務支援コースなど複数のコースがあり、コース内容に応じて国内や海外で研修を実施しています。

信金キャピタルトレーニーでは、事業承継やM & Aについて実地研修を通じて学ぶ研修を実施しています。

### ■ 税理士・不動産鑑定士など高度な専門資格保有者の養成

職員の自律的なキャリア形成意欲に応え、お客さまへの高度なアドバイスや金庫業務への活用を目的として、税理士や不動産鑑定士の養成を定期的実施しています。

公募によって選ばれた職員が資格取得に集中できるように、業務から離れて資格取得に向けた学習に取り組む環境を提供しています。

### ■ 事務リーダー養成研修

正確・迅速な事務によるCS (Customer Satisfaction = 顧客満足度) 向上を目的に、営業店職員の中から事務のリーダーとなる人材の養成に取り組んでいます。

## ■ e-ラーニングシステム

職員の事務能力向上や自己啓発環境の整備を目的として「e-ラーニングシステム」を導入しています。これにより、職員は自宅に居ながらインターネットを通じて、事務規定や金融業務知識等について学習することが可能です。また、育児休暇・介護休暇を取得した職員への職場復帰時の支援策としても活用しています。

## ■ 有資格者数

2023年3月31日現在

税理士	1	2級ファイナンシャル・プランニング技能士 (金融渉外技能審査2級)	
不動産鑑定士	3	●個人資産相談業務 (371)	635
社会保険労務士	6	●中小事業主資産相談業務 (246)	
証券アナリスト	2	●資産設計提案業務 (17)	
中小企業診断士	11	●生保顧客資産相談業務 (1)	
宅地建物取引士	46	3級ファイナンシャル・プランニング技能士 (金融渉外技能審査3級)	1,038
公認内部監査人 (CIA)	3	1級金融窓口サービス技能士	8
公認不正検査士 (CFE)	13	●テラー業務(テラー技能審査1級)	
1級ファイナンシャル・プランニング技能士 (金融渉外技能審査1級)	24	2級金融窓口サービス技能士	88
		●テラー業務(テラー技能審査2級) (79)	
		●金融商品コンサルティング業務 (9)	
		3級金融窓口サービス技能士	350
		●テラー業務(テラー技能審査3級) (344)	
		●金融商品コンサルティング業務 (6)	

## 今後の金庫が めざすもの

### ■ 自律的なキャリア形成への取り組み

各世代にあわせたキャリアチャレンジ制度をスタートします。それぞれの年代に応じて、定期的にキャリア形成を見直しながら、長期にわたって職場での将来設計に向けた取り組みを金庫としてしっかりとサポートしていきます。また、希望する職種や部門、めざしたい将来像、あるいは信用金庫人としてのスキルアップに向けた取り組みを、内外の研修機会を活用しながら、リスクリングの発想でオーダーメイド型のサポート体制を構築していきます。



### VOICE

お客さまの資産形成のお手伝いをする仕事に魅力を感じ、現在はタイプ別渉外係として日々業務に取り組んでいます。財務、税務、FPなど、今までに取得した資格を幅広く活用し、一人ひとりのお客さまに寄り添ったマネープランのご提案を心掛けています。



深江支店  
待場夏実

### VOICE

現在、税理士資格の取得に向けて日々勉強に励んでいます。2023年10月からインボイス制度が開始されるなど、税法は時代に合わせて日々変化し続けています。そのような状況においても、お客さまからの税務相談に迅速かつ丁寧に応えられる税理士になれるよう頑張っています。



経営管理部  
良本真之

## コンプライアンス(法令等遵守)推進体制 コンプライアンスの徹底に取り組んでいます。

金融機関の社会的責任や企業倫理のあり方が厳しく問われている現在、当金庫は、その社会的使命と公共性を十分理解し、信用金庫法をはじめ各種関係法令や社会規範に則って日々の業務を適正に運営することが、地域とともに歩む金融機関としての当然の責務であるとの基本認識にもとづき、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして位置づけています。また、役職員が適切な行動をとるための礎として「行動憲章」を定め、その実践に努めています。

### 尼崎信用金庫行動憲章

尼崎信用金庫は、地域の中小企業と地域住民のための金融機関として、持続可能な社会の実現に向けてその社会的責任を果たすべく、行動憲章を制定する。

#### [信用金庫の社会的使命と公共性の自覚と責任]

1. 当金庫のもつ社会的使命と公共性を常に自覚し、責任ある健全な業務運営の遂行に努める。

#### [質の高い金融サービスの提供と地域社会発展への貢献]

2. 経済活動を支えるインフラとしての安定的な機能提供とサービスの高度化に向けた不断の創意と工夫に努め、お客さま本位の業務運営を通じて、お客さまのニーズに応えるとともに、市民生活や企業活動に脅威を与えるテロ、サイバー攻撃、自然災害等に備え、セキュリティレベルの向上や災害時の業務継続確保などお客さまの利益の適切な保護にも十分配慮した質の高い金融サービスの提供を通じて、地域経済・地域社会の発展に貢献する。

#### [法令やルールの厳格な遵守]

3. あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範にもとることのない、誠実かつ公正な業務運営を遂行する。

#### [地域社会とのコミュニケーション]

4. 経営等の情報を積極的、効果的かつ公正に開示し、広く地域社会とのコミュニケーションの充実を図る。また、当金庫を取り巻く幅広いステークホルダーとの建設的な対話を通して、社会からの理解と信頼を確保し、自らの価値向上を図る。

#### [人権の尊重]

5. すべての人々の人権を尊重する。

#### [多様な人材の活躍、健康・安全な職場]

6. 多様な人材の活躍を促進する制度や柔軟な働き方を実現する。また、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境を確保する。

#### [人材育成への取組み、金融経済教育への貢献]

7. 人材育成や能力開発に積極的に取り組み、職員の自律的なキャリア形成を支援する。また、金融経済教育への参画等により、社会の金融リテラシー向上に貢献する。

#### [環境問題等への取組み]

8. 地球環境や社会情勢の変化等への耐性の高いサステナブルな環境・社会の構築に向け、主体的に行動する。

#### [社会参画と発展への貢献]

9. 当金庫が社会の中においてこそ存続・発展し得る存在であることを自覚し、社会とともに歩む「良き企業市民」として、積極的に社会に参画し、その発展に貢献する。

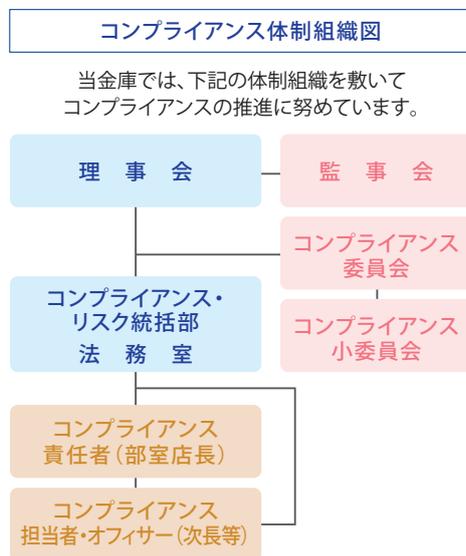
#### [反社会的勢力との関係遮断、テロ等の脅威への対応]

10. 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは断固として対決し、関係遮断を徹底する。また、国際社会がテロ等の脅威に直面している中で、マネー・ローンダリング対策およびテロ資金供与対策の高度化に努める。

## 当金庫の コンプライアンス 体制

当金庫では、コンプライアンスを単に法令等を遵守するだけでなく、利用者保護や市場の公正・透明の観点、あるいは金融機関に対する社会的な要請等に照らして適切な業務運営を行うことと捉え、その推進を行うために右図のような体制としています。

理事長を委員長とするコンプライアンス委員会では、コンプライアンスの状況やコンプライアンス体制の整備・運用等について定期的に検討し、施策の立案、問題点の改善等を行い、検討事項を定期的に理事会に付議・報告しています。また、コンプライアンスを統括する部署として、コンプライアンス・リスク統括部内に「法務室」を設置しているほか、各部署には、コンプライアンスに関する統括責任者である「コンプライアンス責任者(部署店長)」と、コンプライアンスの推進やリスク管理等の役割を担う「コンプライアンス担当者・オフィサー(次長等)」を配置しています。



## コンプライアンスの 推進のための 取り組み

### ■ コンプライアンス・プログラムの策定

コンプライアンスを実現するための具体的な実践計画である「コンプライアンス・プログラム」を毎年度策定し、本プログラムに沿った各種施策に取り組んでいます。

### ■ ヘルプラインの設置

当金庫では、不正行為等や法令違反その他のコンプライアンスの問題等の早期発見と是正を図るため、職員が直接相談または通報する窓口として「ヘルプライン」を設置しています。また、内部に設置している窓口に加え、外部の弁護士事務所にも窓口を設置することにより、役職員がより安心して利用できる環境整備に努めています。

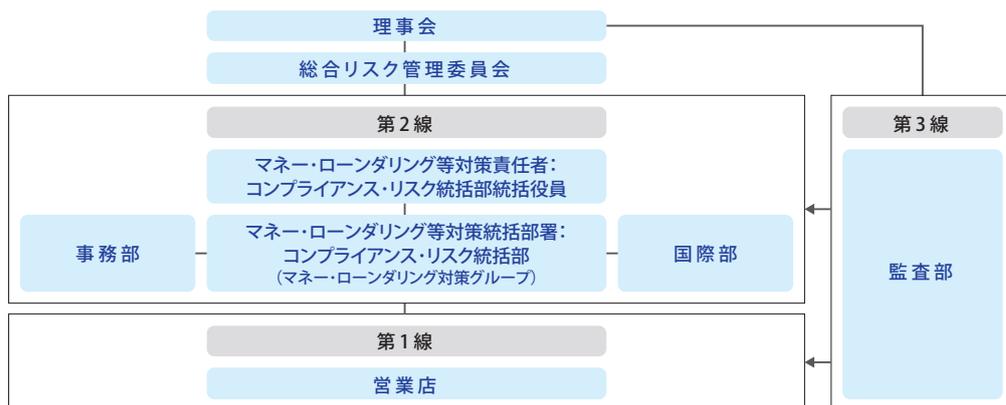
## マネー・ローンダリング 及びテロ資金供与 対策への取り組み

近年、国際社会においてマネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の重要性が高まっています。当金庫においても、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策を経営の重要課題の一つと位置付け、犯罪収益移転防止法、金融庁「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」や、FATFなどの国際機関の要請、OFACをはじめとする各国の要請等において求められる管理態勢の強化や、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与のリスクに応じた取り組みを行っています。

具体的には、当金庫においては、コンプライアンス・リスク統括部をマネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の統括部署と定めているほか、コンプライアンス・リスク統括部 統括役員を、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の責任者と定め、当金庫が直面するマネー・ローンダリング及びテロ資金供与リスクを特定・評価し、リスクに応じた低減措置を適切に講ずるなど、対策を進めています。

また、理事会においても、2022年7月にマネー・ローンダリング対策を統括するグループとして、コンプライアンス・リスク統括部内に、マネー・ローンダリング対策グループを新設するなど、その取り組みに主導的に関与しています。

今後も、金融犯罪行為を防止し、お客さまが安心・安全にお取引いただけるよう、こうした態勢を強化するなど、さまざまな対策を進めてまいります。



## 反社会的勢力 との関係遮断

当金庫は、信用金庫の持つ社会的責任と公共的使命を果たすため、「反社会的勢力に対する基本方針」を制定しています。

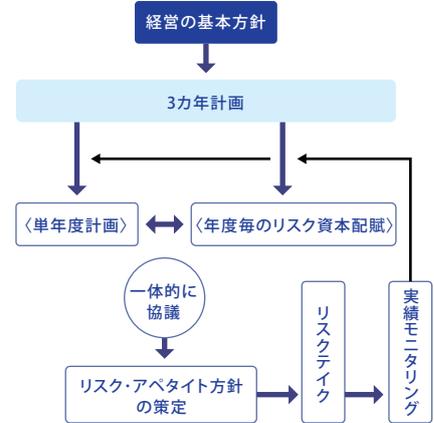
反社会的勢力に対し毅然とした態度で臨み、断固たる態度でその関係を遮断し排除していくことにより、公共の信頼を維持し、業務の適切性および健全性の確保に努めています。また、基本方針を具現化するため、信用金庫取引約定書や各種預金規定に反社会的勢力の排除条項を盛り込むなどの態勢を整備しています。「反社会的勢力に対する基本方針」については、当金庫ホームページをご覧ください。

## リスク管理高度化の取り組み 信頼される地域金融機関としてリスク管理体制の高度化に努めています。

経済のグローバル化やデジタル化の進展など、金融を取り巻く環境が急激に変化するなかでも、当金庫は地域に密着した信用金庫として、質の高い金融仲介機能を発揮し、地元企業や地域経済を支えるとともに、その持続的な成長に貢献するという使命を果たさなければなりません。

それらの実現をめざし当金庫では、経営目標の達成に向けた施策と進んで受け入れるべきリスクの種類・総量を一体的に管理する「リスク・アペタイト・フレームワーク(RAF)」<sup>(注)</sup>の考え方を取り入れ、その定着に努めています。多様化・複雑化するリスクを制限するだけでなく、適正なリスクテイクのもとでリターンの最大化をめざすRAFを活用し、収益計画や資本配分を巡るリスク管理部門とフロント部門の対話を促進していくことで、リスクがバナンスの高度化を図っています。

[RAFに基づく業務運営態勢]



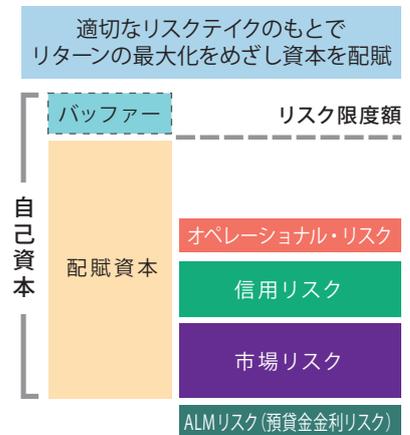
(注) 経営目標や事業戦略、財務計画などを達成するための「リスク・アペタイト(どのような業務に取り組み、どのようなリスクをどこまで取り、どの程度の収益を上げるかに関する中長期的な指針)」を明確にし、経営やリスクなどを管理する「フレームワーク(枠組み)」を指す。

## リスクテイクと資本配賦

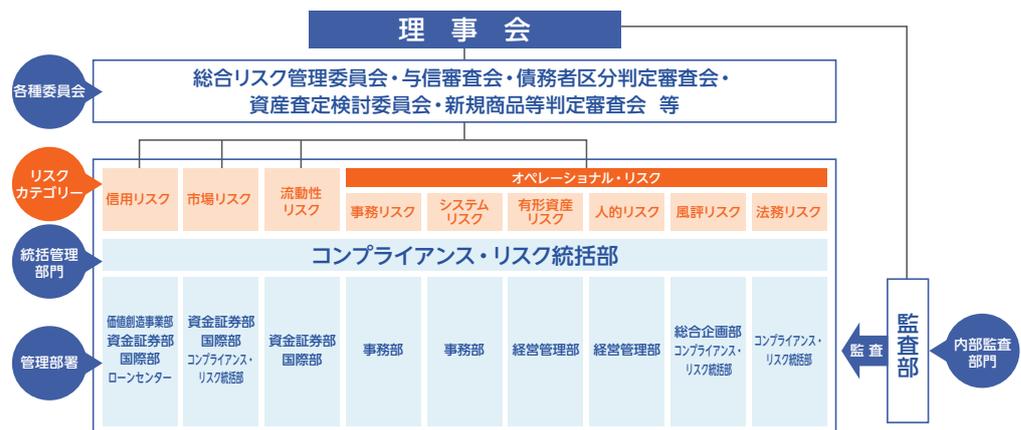
当金庫は、RAFの協議により示された貸出や有価証券投資のリスク選好の方向性を踏まえ、最適な資本配分に基づく収益の最大化をめざし、各種リスクを計量化のうえ、リスク資本の配賦・管理を実施しています。

具体的には、当金庫の自己資本額からバッファーを除いた額をリスク資本配賦額(リスク限度額)として、一定額を市場リスク、信用リスク、ALMリスク(預貸金金利リスク)、オペレーショナル・リスクの各部門に配賦し、この配賦額と各部門のリスク量を比較することによりリスクをモニタリングしています。なお、ALMリスクについては、コア預金内部モデルの導入に伴い、リスク量が負の値として計測されるため、配賦資本はゼロとして管理を行っています。

[資本配賦の仕組み]



## リスク管理体制



## 信用リスク管理

信用リスクとは、取引先の財務状況の悪化等により、貸出金などの資産の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいいます。

### ■ 審査体制

当金庫では、取引先の実態把握を行うとともに、業界の動向や技術力・販売力等から成長性等を見極めるなど、総合的な評価による与信判断に努めています。また、業種別の信用リスクのよりきめ細かな把握と管理の徹底を図るため、各業種に精通した業種別審査スペシャリストを審査部署に配置しています。さらに、コンサルティング機能の一層の強化を図ることにより、取引先の経営改善・事業拡大等の支援にも努めています。

### ■ 信用格付制度をベースとしたリスク管理

当金庫では、貸出金の信用リスクを客観的に把握するため、「信用格付制度」等を導入し融資先の業況変化等を継続的に把握しています。また、「信用格付制度」を起点として信用リスクの計量化を行い、貸出資産におけるリスク量の変化を把握するなど、適切に管理しています。

### ■ 自己査定

貸出金等の資産内容の自己査定を厳正に行うため、「自己査定システム」を導入し、営業店が融資先を査定した結果を、審査部門がチェックし、統括管理部門が最終チェックを行う体制を構築しています。

## 市場リスク管理・ 流動性リスク管理

### ■ 市場リスク

市場リスクとは、金利、有価証券の価格、為替等のさまざまな市場ファクターの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスクのことです。具体的には金利リスク、価格変動リスク、為替リスクとこれらに付随する信用リスク等の関連リスクを総称して市場リスクといえます。

当金庫では、理事会で運用方針や運用基準を定め、ポジション枠やリスク・リミット等についても、当金庫の収益力やリスク管理能力等を勘案して、定期的に見直しています。また、資金証券部、国際部、コンプライアンス・リスク統括部による市場取引にかかる相互牽制の徹底やグローバル分散運用の拡大に伴うリスクプロファイルの変化に対応したリスクファクター分析の高度化、総合リスク管理委員会や理事会への定期的な報告などにより、リスク管理体制の強化を図っています。

### ■ 流動性リスク

流動性リスクとは、予期せぬ資金の流出により、通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされたり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスクのことで、具体的には市場流動性リスクと資金繰りリスクをいいます。

当金庫では、流動性リスクの増大を回避するため、市場流動性の高い有価証券への投資を基本とするとともに、短期間で資金化できる資産を流動性準備として一定水準以上保有するなど、日々安定的な資金繰り管理に努めています。

また、お客さまの信用不安を招く風評等による預金流出リスクに備えるため、金庫の信認に影響を与える風評等（SNS、新聞等のメディア掲載情報）についてモニタリングを実施しています。

## オペレーショナル・ リスク管理

オペレーショナル・リスクとは、金融庁告示第307条のオペレーショナル・リスク（信用金庫業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であることまたは外生的な事象により損失が発生しうる危険）に風評リスクを加えたものと定義しています。具体的には、事務リスク、システムリスク、有形資産リスク、人的リスク、風評リスク、法務リスクの6つに分け、基本方針、管理規程、マニュアル等により適切な管理を行い、リスク顕在化の防止と発生時の影響度の極小化に努めています。

## 業務継続体制 の整備

当金庫は、地震等の自然災害、システム障害、感染症の蔓延等により、業務運営を妨げる障害等が発生した場合でも、金融・決済機能を維持し、お客さまのお取引に支障が発生しないよう、「業務継続基本規程」「業務継続・危機管理対策要綱」を制定し、業務継続体制の整備に取り組んでいます。また、2022年10月から2023年3月にかけて「サイバー攻撃対応訓練」ならびに「災害対応訓練」を実施し、業務継続体制の実効性確保を図っています。

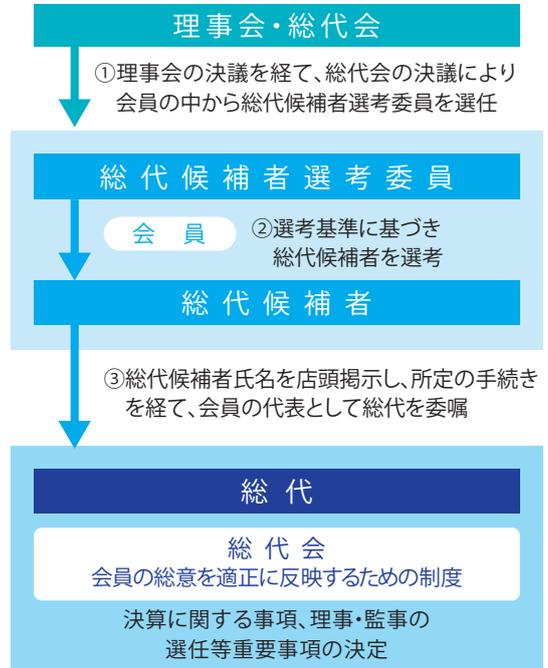
## 開かれた総代会をめざして



### [1] 総代会のしくみ

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に会員1人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員1人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、様々な経営改善に取り組んでいます。

【総代会は、会員1人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です】



### [2] 総代とその選任方法

#### ① 総代の任期・定数・定年

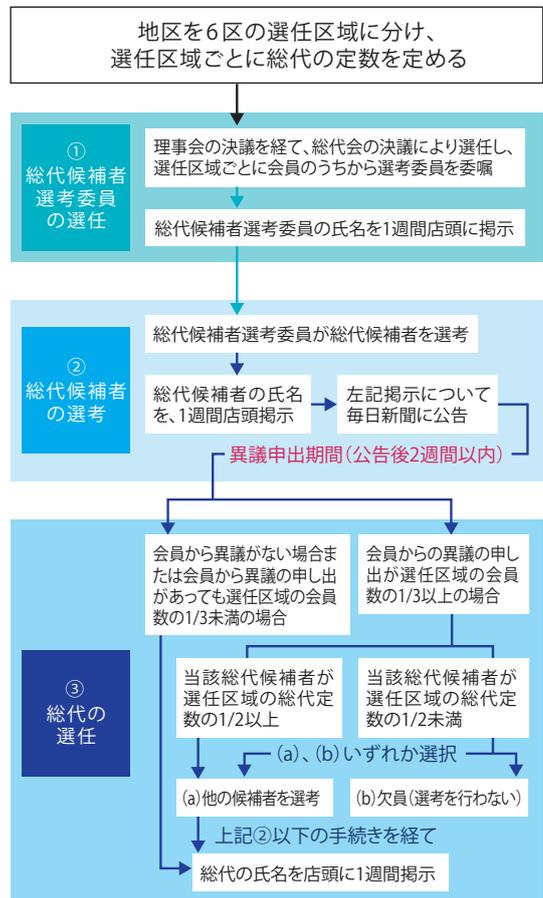
- 総代の任期は2年です。
- 総代の定数は定款に定める範囲内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められています。
- 総代の定年は満80歳です。(但し任期の途中で年齢が満80歳に達した場合はその任期の満了をもって終えるものとします。)
- なお、2023年6月20日現在の総代数は137名で会員数は129,819名です。

#### ② 総代の選任方法

総代は会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- (1) 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- (2) その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- (3) その総代候補者について会員に信任を問う。

#### 【総代が選任されるまでの手続きについて】



## [3] 総代候補者 選考基準

- ① 資格要件
  - 当金庫の会員であること。
  - 満80歳未満であること。
- ② 適格要件
  - 総代として相応しい見識を有している人であること。
  - 良識をもって正しい判断ができる人であること。
  - 地域における信望が厚く、総代として相応しい人であること。
  - 地域での居住年数が長く、人縁関係が深い人であること。
  - 行動力があり、積極的な人であること。
  - 人格・識見に優れ、当金庫の発展に寄与できる人であること。
  - 当金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する人であること。

## [4] 総代会の 決議事項

### 第103期通常総代会

2023年6月19日、総代137名（うち委任状による出席28名）のご出席をいただき、本店3階大会議場で開催しました。総代会が適法に成立している旨の報告があり、2022年度の業務報告のあと議事に入り、右記の議案を満場一致で原案通り承認可決いただきました。

報告事項 / 第103期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

決議事項  
 第1号議案 / 剰余金処分（案）承認の件  
 第2号議案 / 定款一部変更の件  
 第3号議案 / 会員の法定脱退（除名）の件  
 第4号議案 / 退任理事に対する退職慰労金支給の件

報告事項 / 総代選任区域別の総代定数の件

## [5] 総代の氏名 (2023年6月20日現在)

### 尼崎市南部地区 (JR東海道本線以南) (25名)

有里 正夫⑧ / 池田 勝海⑧ / 石本 一也① / 今井 正也⑨ / 岩口 松男⑥ / 大隈 健英③ / 大島 時彦⑨ / 岡本 有司⑥ / 鍵田 智嗣⑧ / 假屋 博志① / 柴田 侃一⑧ / 島中 哲美⑤ / 杉本 真一② / 高橋 秀典⑤ / 谷 竹治⑥ / 玉井 健一⑥ / 智多 昌志③ / 中馬 淳⑧ / 濱本 規之① / 平尾 秀樹① / 福田 孝③ / 藤井 光博⑨ / 宮崎 健一② / 森 清龍① / 山田 善弘④

### 尼崎市北部地区 (JR東海道本線以北) (21名)

石山 茂④ / 伊藤 泰弘① / 大川 肇④ / 大西 康雄⑦ / 岸田 政文③ / 小寺 博一⑨ / 佐藤 肇① / 杉原 豊弘② / 高橋 勝⑦ / 玉井 一男⑦ / 栃尾 康介⑥ / 中村 英一⑩ / 福田 承子④ / 福本 豊⑦ / 堀部 雅夫⑪ / 松田 隆⑤ / 松本 勝憲⑬ / 森本 真澄⑦ / 山下 健治⑩ / 善見 壽男④ / 與那嶺 まり子①

### 伊丹・川西・宝塚各市、猪名川町地区 (23名)

池上 尚之⑦ / 井上 智之④ / 歌枕 孝⑥ / 大石 伸一③ / 片井 勝④ / 金谷 修右③ / 古結 泰司④ / 佐郷 充啓① / 清水 正① / 菅原 弘④ / 竹田 英一⑨ / 田中 和男⑦ / 田中 義章⑤ / 寺本 達也③ / 中野 学② / 中村 良子⑤ / 藤縄 修平① / 古田 孝雄④ / 米谷 登⑧ / 枅川 武男⑦ / 森崎 正定④ / 山本 泰幸④ / 渡邊 修司④

### 西宮・芦屋・神戸・三田・三木・丹波篠山・加東・明石各市区 (31名)

池田 福典④ / 上田 勝嗣⑧ / 江里口 一佳⑦ / 柿木 浩④ / 北住 幸康⑤ / 北田 勝也⑦ / 黒田 俊一⑥ / 小坂 圭一⑦ / 小西 康治① / 小西 孝教⑨ / 小林 泰⑪ / 佐藤 信一郎③ / 佐藤 寿延① / 柴田 治⑤ / 鈴木 康之① / 竹本 清三③ / 谷口 直毅⑩ / 樽岡 清① / 土谷 千津子① / 天王寺 昭博⑧ / 西本 正⑪ / 灰山 元芳⑧ / 早瀬 利典⑧ / 原田 高幸⑦ / 平井 一憲⑨ / 福田 義信⑦ / 藤谷 知之⑤ / 藤原 國雄⑪ / 松本 康利③ / 丸岡 稔洋⑩ / 横山 嘉夫②

### 大阪府下北部 / 大阪市東淀川・淀川・西淀川・旭・福島・北・西・中央・都島・城東各区、池田・豊中・箕面・吹田・摂津・茨木・高槻・守口・門真・大東・寝屋川・四条畷・枚方各市、能勢・豊能各町地区 (19名)

阿部 隆博③ / 石田 恵一② / 井上 信幸④ / 井元 克典⑤ / 岡本 真二④ / 黒川 京正⑧ / 西良 耕一① / 坂西 泰彦⑧ / 竹中 豊⑪ / 戸川 孝雄④ / 富永 道代⑤ / 永井 宏幸④ / 中村 勝一⑨ / 仁木 清英⑤ / 西田 正一⑨ / 芳賀 清④ / 橋本 馨⑫ / 森 巧④ / 若林 敬造⑤

### 大阪府下南部 / 大阪市鶴見・東成・生野・東住吉・平野・天王寺・浪速・西成・住吉・住之江・大正・此花・港・阿倍野各区、東大阪・八尾・柏原・堺・松原・藤井寺・羽曳野・富田林・河内長野・高石・泉大津・和泉・大阪狭山・岸和田各市、忠岡町地区 (18名)

赤松 幸宏③ / 有田 善実③ / 市林 健司③ / 上田 哲夫⑥ / 汲田 博之⑤ / 下 俊男⑦ / 関口 幸一⑨ / 辻本 侃三⑨ / 寺田 哲也④ / 西尾 崇③ / 西尾 弘美② / 西村 博仁⑤ / 林 卓之① / 廣安 雅美⑦ / 堀田 恵一⑤ / 増田 尉男⑦ / 松峯 哲也④ / 村上 周三②

以上137名(五十音順・敬称略) ※氏名の後の数字は総代就任回数

総代の 属性別 構成比	職業別	法人代表者:89.1%	個人事業主:3.6%	個人:7.3%				
	年代別	70代以上:38.0%	60代:36.5%	50代:21.9%	40代:3.6%			
	業種別	製造業:32.1%	建設業:21.9%	運輸業・郵便業:5.1%	卸売業・小売業:19.7%	不動産業:7.3%	サービス業:12.4%	個人:0.7%

※業種別の構成比は、総代が主に従事されている業種によって算出しております。

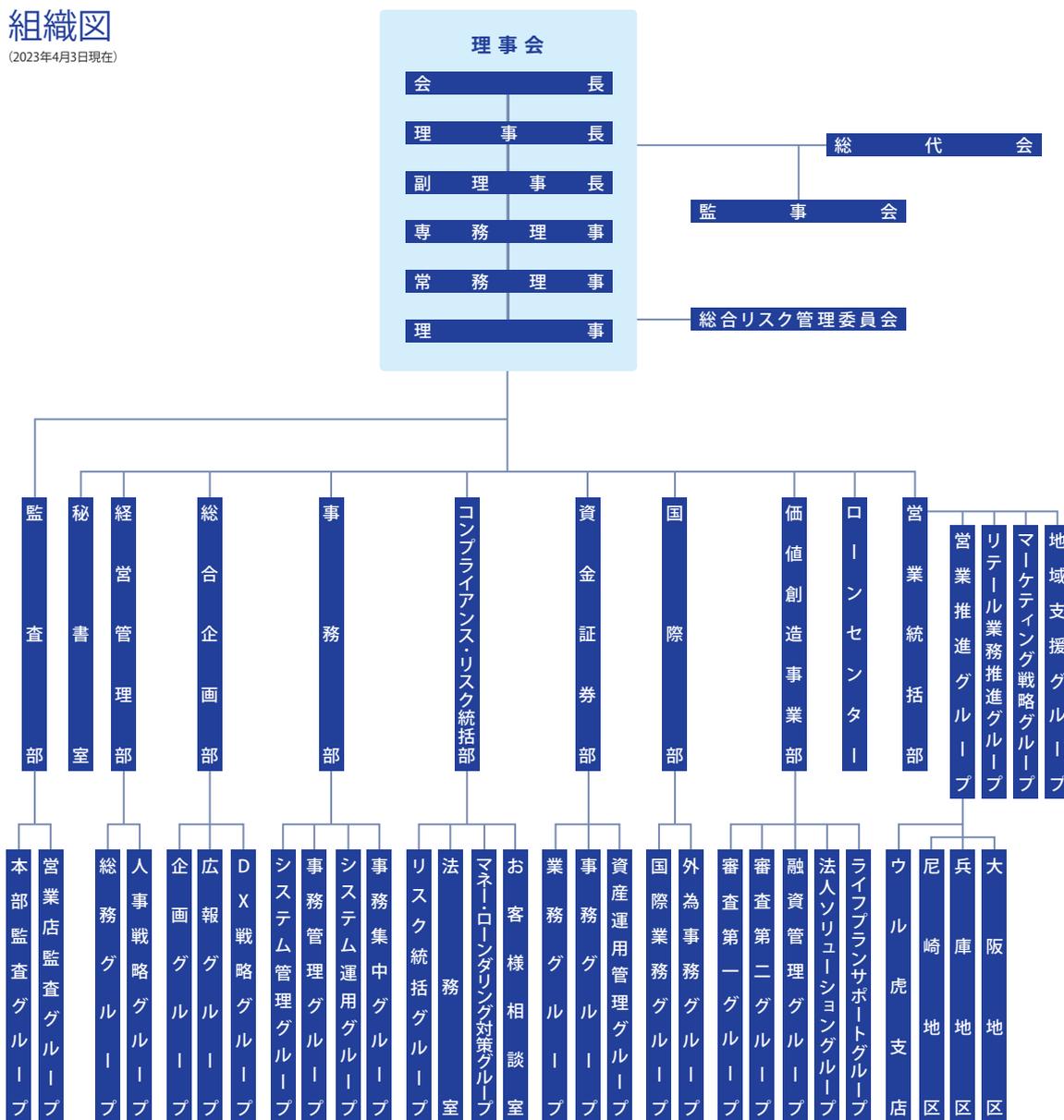
## 組織体制 組織の相互牽制機能を発揮し、内部管理態勢の強化を図っています。

### ガバナンス(経営管理)に関して

当金庫では、信用金庫法等に基づいて、理事会および監事会により、理事の職務執行の監督・監査を行っています。

#### 組織図

(2023年4月3日現在)



#### 理事会

理事会は、金庫の業務執行に関する重要事項を決定するとともに、理事の職務の執行を監督します。理事会は、法令または定款の規定のほか、理事会規程に基づいて運営されています。また内部管理態勢の有効性・適切性を確保するため、理事会直結の組織として監査部を設置しています。

#### 監事会

監事会は、員外監事(信金法第32条第5項に規定)を含む3名で構成され、法令、定款、監事会規程に基づいて運営されています。監事は、業務の適法性監査を基本とした監査を実施しています。

#### 総代会

39～40ページをご覧ください。

## 役員一覧

(2023年7月3日現在)

理事長 (代表理事)		作田 誠司
専務理事 (代表理事)	営業統括部・ローンセンター統括	今井 康裕
専務理事 (代表理事)	価値創造事業部統括 兼 価値創造事業部長	和田 敦裕
常務理事 執行役員	事務部統括	上野 成昭
常務理事 執行役員	資金証券部・国際部・コンプライアンス・リスク統括部統括	小澤浩太郎
常務理事 執行役員	経営管理部・秘書室統括	杉森 貞之
常務理事 執行役員	総合企画部統括	岡島 尚也
理事 執行役員	国際部管轄 兼 国際部長	小林 卓治
理事 執行役員	本店営業部長	松田 弥栄
理事 執行役員	価値創造事業部 審査第一グループ・審査第二グループ・融資管理グループ管轄	田口 裕久
理事 執行役員	監査部管轄 兼 監査部長	片岡 睦
監事		西田 芳則
監事 (非常勤)		宮永 俊文
監事 (非常勤)		岩田 強

※常務理事 小澤浩太郎と岡島尚也は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。  
 ※監事 岩田強は、信用金庫法第32条第5項に規定する員外監事です。

